

委員会活動

各委員会庶務担当については下線を付しています

◆ 医療安全関係

1. 医療安全管理対策委員会

構 成 人 員	委 員 長		若林直樹(院長)
	副委員長		光吉明(副院長)、高見史朗(診療局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	城正泰(臨床研修センター長)、寺村千俊(歯科口腔外科診療部長)、 内中将貴(臨床研修センター)
		医 療 技 術 局	早川太朗(薬剤部薬剤長)、田口一也(臨床検査部技師長)、 南一男(放射線部技師長)、木村啓志(臨床工学部技師長)
		看 護 局	西村由香(看護局次長)、奥村紀子(7B師長)
事務局他		高野早人(事務局長)、大石達也(施設契約課長)、 高橋 智枝子(患者相談支援室長)、宮本直樹(医療の質・安全管理室主任)	
庶務担当			山中利加(医療の質・安全管理室参事)、木村ゆりこ(医療の質・安全管理室主査)、 竹原洋二(医療の質・安全管理室)
会 議			1 回／月 開催
活動内容			【開催日】 2021 年 4 月 14 日(水)、5 月 12 日(水)、6 月 9 日(水)、7 月 14 日(水)、8 月 11 日(水)、 9 月 8 日(水)、10 月 13 日(水)、11 月 10 日(水)、12 月 8 日(水)、2022 年 1 月 12 日 (水)、2 月 9 日(水)、3 月 9 日(水) 【定例報告】 ・インシデント、アクシデントレポート件数報告 ・臨床検査部検体関連インシデント件数報告 ・一部事象内容報告、検討 ・患者相談・苦情件数及び内容報告 【その他 報告・協議内容】 ・2020 年度インシデント・アクシデント報告年間レビュー ・2020 年度臨床検査部検体関連インシデント報告年間レビュー ・2021 年度医療安全管理対策委員会並びにリスクマネジメント部会メンバー紹介 ・患者相談支援窓口体制図(案) ・不当要求に対する「防犯部門(仮)」新設の進捗状況報告 ・患者情報等の個人情報に対する事故等の報告ルートについて ・コードホワイトに対する訓練や職員周知について ・2021 年度の医療安全研修会について ・医療安全カンファレンスからの報告 ・現在進行中の「院内アクシデント調査委員会」についての報告 「糞便性イレウス患者死亡事案」 「気切カニューレ閉塞死亡事案」 ・「院内アクシデント調査委員会」による事案結論の職員へのフィードバックについて ・「院内アクシデント調査委員会」についての最終報告と職員への周知について 「糞便性イレウス患者死亡事案」 「気切カニューレ閉塞死亡事案」 ・リスクマネジメント部会の活動について ・11 月度インシデント・アクシデント報告から病院払い案件報告 ・「終末期の治療に関する指針」制定の報告 ・「緩和ケアマニュアル」制定の報告 ・人間ドック受診時のスリッパの使用について ・医療安全研修会について ・放射線・病理レポート未読状況について ・2022 年度医療安全に関連した指針・マニュアルについて ・2021 年度医療安全研修会参加率について(最終報告) ・「院内アクシデント調査委員会」について 「人間ドックの結果についての病院としての見解について」

	・次年度(2022年度)の医療安全カンファレンスについて ・次年度のリスクマネジメント部会について
--	--

2. 感染対策委員会

構 成 人 員	委 員 長		若林直樹(院長)
	副委員長		大江秀典(感染症科診療部長), 井藤英之(感染症科)、 <u>松下弘美</u> (感染管理室)
	メ ン バ ー	診 療 局	高谷季穂(総合内科診療部長), 平沼修(呼吸器内科診療部長), 中尾光成(臨床検査部診療部長), 辻桂嗣(小児科), 柴崎昇(泌尿器科), 内中将貴(臨床研修センター)
		医 療 技 術 局	早川太郎(薬剤部薬剤長), 田口一也(臨床検査部技師長), 松本恵子(栄養部技師長), 高尾しほ(薬剤部), 栗村浩二(臨床検査部)
		看 護 局	渡邊良子(看護局長), 川島もと子(看護局参事), 横谷恵(6B 師長), 内田美智代(8A 師長), 中里玉美(ER 師長), 吉田すみ子(手術部師長) 名坂涼子(3B)
		事務局他	高野早人(事務局長), 鈴木幸子(医事課長)
庶務担当		<u>松下弘美・石田道一</u> (感染管理室)	
会 議		1 回／月 開催	
活動内容			定例会議:毎月第 4 月曜日 2021 年 4 月 26 日(月)、5 月 24 日(月)、6 月 28 日(月)、7 月 26 日(月)、8 月 23 日(月)、 9 月 27 日(月)、10 月 25 日(月)、11 月 22 日(月)、12 月 27 日(月)、2022 年 1 月 24 日(月)、2 月 28 日(月)、3 月 28 日(月) 【定例報告】 ・疫学情報(MASA 分離件数、所属別・材料別分離菌、血液培養分離菌、耐性菌等に 関する報告) ・ICT・AST 報告(ラウンド結果、抗菌薬使用量、サーベイランス結果) ・事例報告 ・「感染防止対策加算」、「感染防止対策地域連携加算」における取り組み及びラウン ド結果 ・感染対策研修会について(教育計画、結果報告) ・看護局感染防止検討委員会からの報告 【協議内容及び報告事項】 ・針刺し・粘膜曝露について ・HIV 予防内服薬の採用にあたって ・職員の麻疹等のワクチン接種について

3. 褥瘡対策委員会

構 成 人 員	委 員 長		貫野賢(皮膚科診療部長)
	副委員長		大津陽子(医療の質・安全管理室参事)
	メン バー	診 療 局	山田真人(脳神経内科), 峠岡佑典(内科)
		医 療 技 術 局	鄭智佳(薬剤部), 山本順子(栄養部), 川端拓朗(リハビリテーション部)
看 護 局		大坪有紀子(9B), 山崎千恵子(7A), 井上佳那(7A)	
庶務担当			竹原洋二(医療の質・安全管理室)
会 議			3 回／年 開催
活動内容			第 1 回開催日: 2021 年 5 月 14 日(月)~5 月 28 日(金)＜院内メール会議＞ ・2020 年活動報告 褥瘡発生状況等 ・2021 年活動方針について ・褥瘡対策研修会について ・その他 第 2 回開催日: 2021 年 10 月 4 日(月) ・2021 年度上半期褥瘡発生状況、回診等活動報告

	・褥瘡対策研修会開催報告 ・予算について ・その他 第3回開催日:2022年3月14日(月)-3月18日(金)＜院内メール会議＞ ・2021年度活動報告(2月末分まで) ・2022年度褥瘡対策研修会について ・2022年度診療報酬改訂について ・その他
--	--

4. 医療機器安全管理委員会

構成 人員	委 員 長		戸田省吾(医療技術局長)
	副委員長		南一男(放射線部技師長), 田口一也(臨床検査部技師長)
	メン バー	診 療 局	-
		医 療 技術局	木村啓志(臨床工学部技師長)
		看 護 局	-
会 議			随時開催
活動内容			会議 2021 年 5 月 26 日 1、 昨年度の医療機器点検結果報告 2、 本年度の医療機器点検計画について 3、 その他(院内医療機器研修会の計画及び報告)

5. 透析機器安全管理委員会

構 成 人 員	委 員 長		中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長)
	副委員長		吉村規子(臨床工学部副技師長)
	メ ン バ ー	診 療 局	吉田尚平(内科)
		医 療 技 術 局	奥村博一(臨床工学部)
		看 護 局	高木文子(血液浄化部師長)
		事務局他	-
庶務担当			奥村博一(臨床工学部)
会 議			2 回／年 開催
活動内容			・「令和 3 年度透析液生菌検査及びエンドトキシン検査結果」の確認 ・「透析液生菌検査依頼書兼結果報告書」の改訂

6. 防火災害対策委員会

構 成 人 員	委 員 長		小橋裕明(診療局次長)
	副委員長		山極久美子(5A 師長)
	メ ン バ ー	診 療 局	中島潤(消化器内科), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科(消化管部門)診療部長)
		医 療 技 術 局	松尾洋史(リハビリテーション部副技師長), 今井修一(放射線部) 武田彬伸(薬剤部)
		看 護 局	各所属長
		事務局他	堀瀬和雄(事務局次長), 杉山功治(医事課), 大石達也(施設契約課長),
庶務担当		原氏恒(施設契約課)	
会 議		随時開催	

活動内容	開催日 令和4年3月1日(火)(第1回)	
	協議事項 1) 今年度の防火・防災訓練について 令和3年11月25日 手術室で防災訓練を実施 令和3年11月26日 7A病棟で夜間想定火災訓練を実施 2) 次年度以降の防火・防災訓練について 令和4年度・・・血液浄化部、7B病棟 令和5年度・・・5A病棟、6B病棟 3) その他 火災(地震による火災)発生時対応マニュアルを最新版に更新する。	

7. 放射線安全管理委員会

構 成 人 員	委 員 長		市場文功(放射線部診療部長)
	副委員長		高野早人(事務局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	城正泰(臨床研修センター長), 有本麻耶(放射線科)
		医 療 技 術 局	南一男(放射線部技師長), 山内聡(放射線部副技師長), 上野智弘(放射線部), 阿部史誉(薬剤部副薬剤長)
		看 護 局	堤夏美(外来部副師長)
		事務局他	-
庶務担当			澤山遼(施設契約課), 田中里衣(総務課)
会 議			随時開催
活動内容			第1回 令和3年8月5日(木) サイボウズでのリモート会議 【議 題】 1. 放射線業務に関する自主点検の実施について
			第2回 令和4年2月14日(月)～25日(金) サイボウズでのリモート会議 【議 題】 1. 放射線設備の管理状況等について 1)放射線装置保守点検 2)放射線安全管理状況の報告について 2. 放射線従事者研修の実施について 3. 放射線従事者雇入れ時健康診断について 4. 「市立大津市民病院における診療用放射線の安全利用のための指針」について 5. 「放射線障害予防規定」について 6. 「災害時の連絡通報マニュアル」について

8. 医療ガス安全管理委員会

構 成 人 員	委 員 長		橋口光子(麻酔科診療部長)
	副委員長		吉村規子(臨床工学部副技師長)
	メ ン バ ー	診 療 局	森由美子(麻酔科)
		医 療 技 術 局	辻淳子(薬剤部)
		看 護 局	森美保子(手術部)
事務局他		山本尚基(オリックス・ファシリティーズ(株):高圧ガス取扱主任者)	
庶務担当			福井悠介(施設契約課)
会 議			1 回/年 開催
活動内容			開催日 令和4年3月11日(第1回)サイボウズ上でのメール開催 協議事項

	(1) 令和3年度医療ガス設備の管理状況等について ① 医療ガス設備保守点検 ② CE設備(液化酸素)定期自主検査 ③ 液化酸素使用量及び受入量 ④ EOG作業環境測定 ⑤ 医療ガス配管設備改修工事 (2) 直近の医療ガス設備保守点検時受託業者所見について
--	--

◆ 診療・医事関係

9. 医療標準化委員会

構成人員	委員長	戸田省吾(副院長)
	副委員長	中嶋敏宏(副院長)
	メンバ―	高見史朗(診療局長), 木股正樹(循環器内科診療部長), 廣田伸之(脳神経内科診療部長), 藤原克次(心臓血管外科(血管部門)診療部長), 小橋裕明(整形外科診療部長), 高山柄哲(脳神経外科診療部長)
	医療技術局	山藤隆晃(臨床検査部), 早川太朗(薬剤部薬剤長), 中村昌文(放射線部)
	看護局	山田久美(外来師長), 高橋智都子(手術部副師長)
	事務局他	上野隆平(総務課長), 山本芳美(入退院センター室長), 中西みちる(医事課)
	庶務担当	寺田貴子(診療情報管理室)
	会議	随時開催
	活動内容	サイボウズメール会議 第1回 令和3年7月29日(木)～令和3年8月5日(木) 議題 1. 内科 説明同意書の審査について 2. 呼吸器外科 説明同意書の審査について 第2回 令和3年10月6日(水)～令和3年10月13日(水) 議題 外科 説明同意書の審査について 第3回 令和3年11月22日(月)～令和3年11月30日(火) 議題 「(案)市立大津市民病院スキヤナによる電子化に関する運用管理要領」の審査について 第4回 令和3年12月3日(金)～令和3年12月10日(金) 議題 1. 心臓血管外科 説明同意書の審査について 2. 泌尿器科 説明同意書の審査について 第5回 令和4年1月31日(月)～令和4年2月7日(月) 議題 消化器内科 説明同意書の審査について 第6回 令和4年2月21日(月)～令和4年3月4日(金) 議題 心臓血管外科・呼吸器内科 説明同意書の審査について 診療記録監査 実施期間 第1回 令和3年09月06日(月)～令和3年09月17日(金) 第2回 令和3年11月08日(月)～令和3年11月19日(金) 監査対象診療科 第1回 内科(総合内科) 循環器内科 整形外科 脳神経内科 皮膚科 脳神経外科 心臓血管外科 耳鼻咽喉科 第2回 消化器内科 外科 呼吸器内科 歯科口腔外科 小児科 泌尿器科 眼科 呼吸器外科 精神・心療内科

	・各診療科医師 1 名につき監査対象診療記録を 2 冊とした。 ・17 診療科、76 名の医師の診療記録を監査した。 緩和ケア科については新型コロナウイルス感染症の影響により、病棟閉鎖のため監査実施せず。
--	--

10. クリニカルパス委員会

構 成 人 員	委 員 長		高見史朗(診療局長)
	副委員長		山中理(薬剤部)
	メ ン バ ー	診 療 局	辻桂嗣(小児科), 峠岡佑典(内科), 寄木浩行(消化器内科), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科(消化管部門)診療部長), 牧野敏樹(泌尿器科)
		医 療 技 術 局	一瀬亮介(臨床検査部), 山中理(薬剤部)
		看 護 局	須佐美智子(看護局次長), 山極久美子(5A 師長), 山崎富美子(6B 副師長) 原田緑(7A 師長), 奥村紀子(7B 師長), 飯田史朗(8B 副師長)
事務局他		川勝政範(経営管理課), 濱田啓代(医事課)	
庶務担当			濱田啓代(医事課)
会 議			随時開催
活動内容			・第 1 回(メール会議)…2021 年 5 月 19 日～6 月 4 日 【内容】消化器内科 新規パスの審査・承認 ・第 2 回(メール会議)…2021 年 7 月 27 日～8 月 19 日 【内容】整形外科 新規パスの審査・承認 ・第 3 回(メール会議)…2021 年 8 月 13 日～10 月 26 日 【内容】呼吸器内科 新規パスの審査・承認 ・第 4 回(メール会議)…2021 年 8 月 25 日～9 月 13 日 【内容】整形外科 新規パスの審査・承認 ・第 5 回(メール会議)…2021 年 8 月 30 日～10 月 14 日 【内容】呼吸器外科 新規パスの審査・承認 ・第 6 回(メール会議)…2021 年 8 月 31 日～11 月 10 日 【内容】脳神経内科 新規パスの審査・承認 ・第 7 回(メール会議)…2021 年 8 月 31 日～11 月 10 日 【内容】循環器内科 新規パスの審査・承認 ・第 8 回(メール会議)…2021 年 10 月 11 日～11 月 10 日 【内容】呼吸器内科(感染症科) 新規パスの審査・承認 ・第 9 回(メール会議)…2021 年 11 月 11 日～2022 年 1 月 25 日 【内容】内科 新規パスの審査・承認 ・第 10 回(メール会議)…2021 年 11 月 18 日～2022 年 2 月 8 日 【内容】心臓血管外科 新規パスの審査・承認 ・第 11 回(メール会議)…2021 年 11 月 18 日～2022 年 2 月 8 日 【内容】泌尿器科 新規パスの審査・承認 ・第 12 回(メール会議)…2021 年 12 月 28 日～2022 年 1 月 25 日 【内容】循環器内科 新規パスの審査・承認 ・クリニカルパス講演会の開催 (2021 年 12 月 17 日 17:15～19:00) 外部に講師を依頼し、クリニカルパスの有効な運用方法等について講演会を開催した。医師・看護師を中心に約 30 名程度が参加した。 講師:小枝伸之氏(八尾市立病院 事務局次長) 和田叔子氏(富士通 Japan 株式会社)

11. 臨床検査精度管理運営委員会(旧 臨床検査精度管理委員会)

構 成 人 員	委 員 長		中尾光成(臨床検査部診療部長)
	副委員長		益澤尚子(病理診断科診療部長), 高木未央(臨床検査部)
	メ ン バ ー	診 療 局	木股正樹(循環器内科診療部長), 寄木浩行(消化器内科), 谷口隆介(呼吸器内科), 戸田省吾(副院長(外科系))
		医 療 技 術 局	瀧井さち子(臨床検査部副技師長), 田口一也(臨床検査部技師長) 辻淳子(薬剤部)
		看 護 局	高橋智都子(手術部副師長)
		事務局他	山本果歩(経営管理課)
庶務担当		瀧井さち子(臨床検査部副技師長)	
会 議		1~2 回/年 開催	
活動内容			令和3年11月9日~令和3年11月19日(WEB会議) 【1】報告事項 ＜1＞今年度参加の外部精度管理について 1) 2021 年度日本臨床検査技師会臨床検査精度管理調査 2) 2021 年度滋賀県臨床検査精度管理調査 ＜2＞昨年度・今年度参加の外部精度管理結果について 1) 2020 年度日本臨床検査技師会臨床検査精度管理調査(資料①) 2) 2020 年度滋賀県臨床検査精度管理調査(資料②) 3) 2020 年度日本医師会精度管理調査(資料③④) 4) 2021 年度日本臨床検査技師会臨床検査精度管理調査(資料⑤⑥) ＜3＞人員の動向 1) 新規正規職員採用予定 2022 年 4 月 1 日付けで正規職員 2 名が採用決定、2 名とも経験者。 もう 1 名、同じく 4 月 1 日付けで採用予定あり。こちらは新卒も含め募集予定。 経緯: 4 月に経営層(理事長・院長・人事課)と話し合い →2023 年 3 月の退職予定者が生理検査 3 名・病理検査 1 名である。検査レベルの低下防止のため、および経営上、エコー検査の増加(2019 年度比腹部エコーは約 1.5 倍)をふまえ、前倒しで今年度の採用が決定。 2) 移動予定者及び退職予定者 ① 移動予定者: 2022 年 3 月末で正規職員 1 名予定。(市役所からの出向期間終了のため) ② 退職予定者: 2023 年 3 月末で正規職員 3 名・嘱託職員 1 名予定(定年退職)。 ＜4＞臨床検査部の取り組みについての進捗状況 1) 人員について ・2022 年 4 月の採用は決定しているが、今後も退職者が続くため、定期的な新規採用を要望していく。 2) 機器更新について (1) 2020 年度大型機器更新の効果 ・細菌検査室での PCR 検査応援・生理検査応援・尿分注室応援を増員無しで対応できている。 ・新規導入機器は処理能力がアップしたため、月曜日午前中などの迅速結果問合せがほぼゼロになった。 ・細菌検査で質量分析機が導入されたので、菌同定が 1 日早くなった(特に嫌気性菌の同定)。 (2) 2021 年度の機器更新並びに新規導入 ・新型コロナウイルス検査関連に伴う PCR 検査機器 3 種類を 2020 年 12 月~2021 年 5 月にかけて導入。また 2021 年 12 月にも導入予定。原資は補助金による。

	・病理検査室について自動脱水包埋装置・染色装置・ミクロトームを2021年10月更新。 (3) 今後の取り組み ・凝固検査機器を今年度中に更新予定(前回更新より8年経過) 【2】 協議事項 ・今後の基準値・単位について 昨年の本会議にて院内項目の基準値について全国共通で根拠がはっきりしている基準値を採用していくことについて了解された。今回、電子カルテ更新時に基準値を改正したい。 【要旨】 根拠に基づいた基準値を設定する必要があるため 医療保険制度において医療機関の機能分担と連携が進められ患者と共に医療情報が医療機関を移動することが当然になり、医療機関間の患者の検査情報共有化が期待され測定方法の標準化とともに基準範囲の共有化が求められている。この情勢をうけ、日本臨床検査標準協議会(JCCLS)より「共用基準範囲」が公開された。現在、大学病院や国立病院機構はこの共用基準値を採用しており、全国の医師会でも普及をすすめている。滋賀県下では大学病院や国立病院、公的病院で採用されている。 また医療法改正(H30・2018)により各臨床検査室において標準作業書等の整備が義務づけられ、その中に基準値および基準値設定の根拠の策定が求められた。 【実施時期】 2022年3月6日(日)より…電子カルテ更新にあわせて実施 参考: 標準作業書及び作業日誌又は台帳関係(改正後医療法施行規則第9条の7第3号、第4号及び第5号関係)) 参考: 日本臨床検査標準協議会(JCCLS) 1985年に日本における臨床検査の標準化と質的改善を目的とし任意団体として発足した。その後2005年にNPO法人、2020年から公益社団法人となった。現在は特別会員9団体(官公庁<厚労省・経産省・国立感染症研究所等>)、正会員29団体(学会・協会等)、賛助会員46社(企業)からなる組織である。 以下に新規採用基準値を示す。(緑背景が変更箇所。新旧比較は添付ファイル参照) なお、血算・肝臓酵素・腎臓系無機質・脂質系については関係部門のドクター了承済み。
--	---

12. RST 委員会

構 成 人 員	委 員 長	千葉玲哉(救急診療科副診療部長)
	副委員長	藤野光洋(救急診療科)
	メン バー	診療局 村西謙太郎(救急診療科)
		医療技術局 西山祐子(歯科口腔外科副参事), 竹崎佐弥香(臨床工学部), 横谷俊彦(リハビリテーション部), 山村篤史(薬剤部)
		看護局 内田美智代(8A 師長), 原田彩花(7B), 貞廣純子(ICU), 若尾泰弘(ICU) 森俊之(ICU)、水嶋将吾(ICU)
	庶務担当	竹崎佐弥香(臨床工学部)
	会 議	3 回／年 開催
	活動内容	第1回呼吸療法サポートチーム(RST)委員会 令和3年7月6日開催 1、RST 委員会メンバー紹介 2、今年度の勉強会計画 3、「RST プロジェクト」について 第2回呼吸療法サポートチーム(RST)委員会

	令和 3 年 12 月 7 日メール会議 1、 RST 要綱の見直し 2、 人工呼吸器装着患者のケアマニュアルの見直し 第3回呼吸療法サポートチーム(RST)委員会 令和 4 年 3 月 7 日メール会議 1、 RST 要綱改訂版最終確認 2、 人工呼吸器装着患者のケアマニュアル改訂版の最終確認
--	---

13. NST 委員会

構 成 人 員	委 員 長		石井通予(栄養部診療部長)
	副委員長		峠岡佑典(内科)
	メ ン バ ー	診 療 局	諏訪兼敏(消化器内科), 藤田覇留久(外科・消化器外科・乳腺外科)
		医 療 技 術 局	松本恵子(栄養部技師長), 西山祐子(歯科口腔外科副参事), 鄭智佳(薬剤部), 本里ゆかり(リハビリテーション部), 谷口昇(臨床検査部)
		看 護 局	山崎富美子(6B 副師長), 加藤明美(7B 副師長), 内田祐代(7B), 佐藤伸一郎(7B), 中西若葉(8A)
	事務局他	杉山功治(医事課)	
庶務担当			森口美由紀(栄養部)
会 議			随時開催
活動内容			●第一回委員会 7/15～7/28 メール会議 NST ラウンド報告、摂食機能療法算定件数、付加食喫食量の経過表への記載、 NST 回診、勉強会について、栄養治療実施計画書兼報告書の取り扱いについて ●第二回委員会 1/25～2/14 メール会議 NST ラウンド報告、摂食機能療法算定件数、経腸栄養チューブの変更検討につ いて、NST 勉強会アンケート結果報告、NST 実地修練、栄養治療実施計画書兼 報告書の運用変更、NST マニュアル・NST 要綱の見直し

14. 認知症ケア委員会

構 成 人 員	委 員 長		廣田真理(脳神経内科)
	副委員長		和田みどり(5A)
	メ ン バ ー	診 療 局	内藤英人(精神・心療内科)
		医 療 技 術 局	辻淳子(薬剤部), 小野真紀(リハビリテーション部), 藤井歩見(リハビリテーション部)
		看 護 局	寺田麻子(3B 副師長), 濱綾香(8B)
		事務局他	吉川麻紀(入退院センター)
庶務担当		藤川勇介(医事課)	
会 議		随時開催	
活動内容		『認知症ケア加算1』を算定するにあたり、毎週 2 回(火・金)のラウンド及びカンフ	

	アレンスをおこなっている。 2021.4～2022.1 の新規介入患者数 186 人、総介入患者実数 289 人、『認知症ケア加算』算定金額 2,198,940 円となった。
--	---

15. CDE 委員会

構 成 人 員	委 員 長		石井通予(栄養部診療部長)
	副委員長		藤永純宏(8A)
	メ ン バ ー	診 療 局	峠岡佑典(内科)
		医 療 技 術 局	松本恵子(栄養部技師長), 早川太朗(薬剤部薬剤長), 瀧井さち子(臨床検査部副技師長)
		看 護 局	山下亜希(外来部副師長), 高山栞(5A), 田邊智子(外来部), 小坂奈美(外来部)
事務局他		濱田啓代(医事課)	
庶務担当			山下亜希(外来部副師長)
会 議			随時開催
活動内容			メール会議を7月、10月、3月に開催した。 2021年度 委員会実績 1, インスリン製剤変更に伴う、各所属への周知活動 ヒューマログからインスリンリスプロ BS 注への変更 バイオシミラ製剤採用のため。デバイスの変更に伴い、主に病棟看護師に対して周知した 2, ブドウ糖供給方法の変更に対する周知活動、院内コンビニでの販売依頼 これまでメーカーから無料で提供されていたブドウ糖の供給が終了するに伴い、院内発生時のブドウ糖製品の選定を実施し、採用品を院内コンビニでも販売となったことを各所属へ周知した 3, インスリン自己注射/SMBG チェックリスト運用方法の見直し eXChart での上記チェックリスト運用を見直し、経過表から継続指導の内容が振り返りできるよう EXCEL チャートでの運用に切り替えとし、同時にチェックリストの内容についても改訂を実施した。 4, 院内採用血糖測定器の更新 外来、病棟にて採用している自己血糖測定器の一斉変更を実施した。前採用機器の経年劣化もあり、SPD 共同購入の流れから採用品の見直しを図った。 今回の機器採用にあたり、血糖データ管理ソフトウェアについても電カルと連動するように整備を図った。 病棟一斉交換に際しては、看護師を中心に使用方法、変更点など周知活動を実施、外来に関しては事前に患者個々への周知を図り機器交換対応とした。いずれも大きな混乱もなく、スムーズに実施し、外来についても2021.11～2022.1でほぼ対象患者の機器交換を終了している。

16. 手術部運営委員会

人 成	委 員 長	七里泰正(副院長)
	副委員長	橋口光子(手術部診療部長)

メン バ ー	診 療 局	光吉明(副院長), 常塚啓彰(呼吸器外科診療部長), 高山柄哲(脳神経外科診療部長), 藤原克次(心臓血管外科(血管部門)診療部長), 小池保志(眼科診療部長), 寺村千俊(歯科口腔外科診療部長), 貫野賢(皮膚科診療部長), 小橋裕明(整形外科診療部長), 小池忍(耳鼻咽喉科診療部長)
	医 療 技 術 局	高橋亮太(放射線部), 竹崎佐弥香(臨床工学部), 鄭智佳(薬剤部)
	看 護 局	吉田すみ子(手術部師長), 高木文子(ICU 師長)
	事務局他	長田憲・澤山遼(施設契約課)
会 議		随時開催
活動内容		第一回メール会議 日時: 令和 3 年 7 月 13 日(火)~7 月 20 日(火) 議題 1. COVID-19 感染症流行期における手術部の対応について 議題 2. 麻酔科外来について 議題 3. 手術部関連の医療機器購入進捗状況について 議題 4. 外科用 C アーム画像の電子カルテとの連携について 第二回メール会議 日時: 2021 年 12 月 22 日(火)~12 月 27 日(月) 議題 1. COVID-19 感染症流行期における手術部の対応について 議題 2. 麻酔科体制変更と麻酔科外来について 議題 3. 手術部関連の医療機器購入・設備修繕などについて 議題 4. 部外者の入室について 臨時メール会議 COVID-19 感染症流行期における手術部の対応について

17. 救急・集中治療部運営委員会

構 成 人 員	委 員 長		高見史朗(診療局長)
	副委員長		千葉玲哉(救急診療科診療部長)
	メン バ ー	診 療 局	小橋裕明(整形外科診療部長), 廣田伸之(脳神経内科診療部長), 木股正樹(循環器内科), 辻桂嗣(小児科), 大江秀典(外科・消化器外科・乳腺外科(肝胆脾部門)診療部長), 小林環(脳神経外科), 中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長), 村西謙太郎(救急診療科), 八塩章弘(救急診療科), 藤野光洋(救急診療科)
		医 療 技 術 局	早川太朗(薬剤部薬剤長), 金子裕(臨床検査部), 廣瀬元(臨床工学部)
		看 護 局	高木文子(ICU 師長), 中里玉美(ER師長), 寺田麻子(3B 副師長) 吉田修(ER), 森俊之(ICU)
		事務局他	杉山功治(医事課)
庶務担当		菊池美保(地域医療連携室)	
会 議		1 回／年 開催	
活動内容		2022 年度 第 1 回 救急・集中治療部運営委員会 日時:令和 3 年 6 月 18 日(金) 場所:メール会議 会議内容:時間外における救急搬送の応需方法について 第 2 回	

	日時:令和 4 年 3 月 1 日(火) 場所:メール会議 会議内容:消化器疾患救急患者への対応について 3 月 19 日よりの救急対応の取り決めに加筆され一部変更された。
--	--

18. 化学療法委員会

構 成 人 員	委 員 長		益澤明(化学療法部診療部長)
	副委員長		中尾光成(内科統括診療部長), 橘強(外来通院手術部診療部長), 川島もと子(看護局参事)
	メ ン バ ー	診 療 局	寺村千俊(歯科口腔外科診療部長), 谷口隆介(呼吸器内科), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科(消化管部門)診療部長), 柴崎昇(泌尿器科), 中島潤(消化器内科)
		医 療 技 術 局	瀧井さち子(臨床検査部副技師長), 阿部史誉(薬剤部薬剤長), 小山加奈世(薬剤部)
		看 護 局	山田久美(外来部師長), 谷口敦美(8A 副師長), 田中美津子(8B 副師長), 柳田知美(7A), 奥野あす香(外来部), 林美保(9A副師長),
事務局他		濱田啓代(医事課), 杉江礼子(患者相談支援室)	
庶務担当			川勝政範(経営管理課)
会 議			1 回／月 開催
活動内容			開催日: 令和 3 年 9 月 30 日(メール会議) 議題: ①化学療法部利用患者さんの来院時間変更 ②化学療法説明同意書ひな形の改訂 ③ICI に対する採血セット(ICI セット)の内容変更 化学療法レジメン承認部会 開催日: 令和 3 年 4 月 19 日、4 月 30 日、5 月 30 日、5 月 31 日、6 月 7 日、9 月 6 日 9 月 24 日、10 月 12 日、11 月 12 日、12 月 17 日 令和 3 年 1 月 5 日、1 月 11 日、1 月 14 日、1 月 18 日、1 月 19 日、 1 月 25 日 3 月 15 日、3 月 25 日 議題: 新規レジメン 28 項目について審査

19. 薬事委員会

構 成 人 員	委 員 長		若林直樹(院長)
	副委員長		中嶋敏宏(副院長)早川太朗(薬剤部薬剤長)
	メ ン バ ー	診 療 局	中尾光成(内科統括診療部長), 城正泰(臨床研修センター長) 貫野賢(皮膚科診療部長), 戸田孝祐(外科・消化外科・乳腺外科)
		医 療 技 術 局	高尾しほ(薬剤部)
		看 護 局	川島もと子(看護局参事)
		事務局他	堀瀬和雄(事務部長・経営管理課長), 大石達也(施設契約課長)
庶務担当		北川加奈子(医薬品情報管理室長)	
会 議		10 回／年 開催 (6 月以降毎月開催)	
活動内容		協議事項 1.新規申請医薬品について 2.臨時申請医薬品について 3.登録抹消医薬品について 4.後発医薬品への切り替えについて 5.登録抹消医薬品について 6.院外処方箋の手書き処方禁止、臨時薬品処方の導入について 7.有害事象報告	

20. 輸血療法委員会

構 成 人 員	委 員 長		中尾光成(輸血管理室長)
	副委員長		光吉明(副院長)
	メ ン バ ー	診 療 局	藤原克次(心臓血管外科(血管部門)診療部長), 八塩章弘(救急診療科), 全圭夏(消化器内視鏡センター長), 柴崎昇(泌尿器科), 小椋明子(リハビリテーション科診療部長), 中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長), 森由美子(麻酔科)

		医 療 局	松井まり子(輸血管理室), <u>三島賀美</u> (輸血管理室)
		看 護 局	西川美沙(8A)
		事務局他	山中利加(医療の質・安全管理室参事), 杉山功治(医事課) ※院外委員は必要時、大津市医師会委員
会 議		隔月開催	
活動内容		【定例報告】	
		1. 血液製剤購入量・廃棄量・廃棄リスト及び使用量・管理料について 2. 輸血副作用報告について 3. 輸血に関するインシデントについて 4. 輸血に関する査定について 5. 輸血チームの活動について	
		【その他の議題】	
		1. 今年度の輸血療法委員会について(5月) 2. 年度別血液製剤使用量、管理料と適正使用量収益、購入金額、廃棄率と廃棄金額(2020年度のグラフ)(5月) 3. 依頼科別実施件数(2020年度のグラフ)(5月) 4. 外部監査(輸血機能評価認定制度:I&A制度)の受審について(5月・8月・10月・12月・3月) 5. 血漿交換症例(8月) 6. 大量輸血時の症例(5月・8月・10月・) 7. 輸血後感染症検査について(5月)	

21. 緩和ケア診療・病棟運営委員会

構 成 人 員	委 員 長		津田真(緩和ケア科診療部長)
	副委員長		堀田美紀(9A 師長)
	メ ン バ ー	診 療 局	平沼修(呼吸器内科診療部長), 益澤明(化学療法部診療部長), 橘強(外科・消化器外科・乳腺外科(乳腺部門)診療部長), 内藤英人(精神・心療内科), 堀居侑子(緩和ケア科(公認心理師))
		医 療 局	神原諒(薬剤部), 小野真紀(リハビリテーション部)
		看 護 局	杉江礼子(患者相談支援室) 林美保(9A 副師長)
		事務局他	藤川勇介(医事課)
庶務担当		山澤弘子(地域医療連携室長)	
会 議		1 回／年 開催	
活動内容		●メールによる報告・意見交換 【報告事項】 1) 緩和ケア病棟の状況について 2) 緩和ケア外来の状況について 3) 緩和ケアチームの活動状況について 4) 緩和ケアマニュアルについて ・ 内容の充実 ・ 電子カルテのバナーへの登録 5) 終末期診療の治療に関する指針について ・ 医療安全管理室の協力のもと作成 ・ 電子カルテのバナーへの登録 6) 検討事項 ・ 人工透析中のがん終末期患者様の緩和ケア病棟への入院受け入れに	

22. 保険診療適正化委員会

構 成 人 員	委 員 長		中嶋敏宏(副院長)
	副委員長		高野早人(事務局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	小橋裕明(整形外科診療部長), 寺村千俊(歯科口腔外科診療部長), 益澤明(消化器内科)
		医 療 技 術 局	平田順一(リハビリテーション部技師長), 野々山裕己(放射線部), 田口なおみ(臨床検査部副参事), 山中理(薬剤部), 吉村規子(臨床工学部副技師長)
		看 護 局	須佐美智子(看護局次長), 山極久美子(5A 師長), 内田美智代(8A師長), 中里玉美(ER師長)
事務局他		藤川勇介(医事課), 医療事務委託業者	
庶務担当			西津剛志(医事課)
会 議			随時開催
活動内容			開催日:令和4年3月4日(金)(第1回) ＜協議事項＞ 1)2022 年度診療報酬改定について 2022 年度診療報酬改定対策チームの発足 2)保険診療についての院内講習会の実施(予定) ①クリニカルパス講演会 日時:令和3年12月17日(金) 17:15～19:00 開催場所:9階 会議室 A・B・C 参加人数:30人 ②2022 年度診療報酬改定講習会 日時:令和4年3月末頃 1時間程度(予定) 開催場所:サイボウズにて周知 (※配信動画を文書管理へ格納し視聴予定) 対象者:全職員 ＜参考＞ 臨床研修病院入院診療加算(入院初日 40 点)に関する施設基準の届出をしている医療機関においては、「全職種の職員を対象とした保険診療に関する講習(当該保険医療機関が自ら行うものを指し、当該保険医療機関以外のものにより実施される場合を除く)が年2回以上実施されている」ことが算定要件として定められている。

23. 診療業務等役割分担推進委員会

構 成 人 員	委 員 長		中尾光成(医療情報センター長)
	副委員長		高野早人(事務局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長), 大江秀典(外科・消化器外科・乳腺外科(肝胆膵部門)診療部長), 五百蔵義彦(脳神経外科), 齋木大器(整形外科)
		医 療 技 術 局	山内聡(放射線部副技師長), 田口一也(臨床検査部技師長), 辻敦子(薬剤部), 吉村規子(臨床工学部副参事)
		看 護 局	竹内須美子(3B 副師長), 木下朗子(ICU 副師長)
	事務局他		太田周吾(総務課)

庶務担当	濱田啓代(医事課)
会 議	随時開催
活動内容	・第1回(メール会議) … 2022年1月20日 【議題】 (1)当法人におけるタスクシフト／シェアの推進に関する検討開始について (2)今年度の医療従事者の負担軽減及び処遇の改善に資する計画について ・第2回(メール会議) … 2022年3月9日(水) ～ 令和4年3月29日 【議題】 (1)今年度の目標達成率について (2)来年度の目標設定について

24. がん診療推進委員会

構 成 人 員	委 員 長		中尾光成(医療情報センター長)
	副委員長		光吉明(副院長), 高見史朗(診療局長)
	メン バ ー	診 療 局	平沼修(呼吸器内科診療部長), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科(消化管部門)診療部長), 常塚啓彰(呼吸器外科診療部長), 津田真(緩和ケア科診療部長), 全圭夏(消化器内視鏡センター長), 柴崎昇(泌尿器科), 堀居侑子(緩和ケア科(公認心理師))
		医 療 技 術 局	阿部史誉(薬剤部副参事)
		看 護 局	奥野あす香(外来部), 大坪有紀子(9B)
		事務局他	杉江礼子(患者相談支援室副参事), 寺田貴子(診療情報管理室), 杉山功治(医事課)
	庶務担当		高橋智枝子(患者相談支援室長)
会 議		随時開催	
活動内容		新型コロナウイルス感染症の影響により開催実績なし	

25. 特定行為看護師推進委員会

構 成 人 員	委 員 長		須佐美智子(看護局次長)
	副委員長		
	メン バ ー	診 療 局	千葉玲也(救急診療科副診療部長), 廣田伸之(脳神経内科診療部長), 石井道予(内科(糖尿病・内分泌部門)診療部長), 橋口光子(麻酔科診療部長), 戸田省吾(副院長)
		医 療 技 術 局	
		看 護 局	森俊之(ICU), 水嶋将吾(3B), 貞廣純子(3B)
		事務局他	
庶務担当		山中利加(医療の質・安全管理室) 杉山功治(医事課), 山澤弘子(地域医療連携室長)	
会 議		随時開催	
活動内容		1.特定行為の実施件数 2022 年 1 月現在 動脈血液ガス関連 橈骨動脈ラインの確保:42 件(うち、COVID-19 による隔離下での実施 11 件) 動脈血穿刺採血:3 件 呼吸器関連 気管カニューレの交換(指導下):8 件 2.現行手順書の見直し 水嶋看護師・穂積看護師と協同で作成中	

	集中治療部医師からの改善指摘箇所について現在修正中 3.教育的関わり 3B 対象のクリティカル研修の実施。研修修了者 5 人。 ICU ローテーション 4 人。 がん看護認定看護師教育課程受講者の特定行為看護師研修受入れ 近江八幡医療センター看護部および特定行為看護師の臨地見学受入れ (城先生・峠岡先生・津田先生・益澤先生脱水・TPN 10 症例のご指導を受ける) 4.RST 活動の再開と運営 看護師対象の勉強会の実施:計 4 回実施(1 回は中止) RST 回診の実施(一回/週) ME 人工呼吸器ラウンドへの同行 RST 要綱の改訂作業 5.発表 院内教育スペシャリストコース 認定看護師活動報告会(2021 年 11 月) 6.2022 年度活動予定 * 手順書改訂→橈骨動脈ライン確保の包括指示化導入 * 気管カニューレ交換のトレーニング→運用基準の取り決め運用 * RST の運営 7. その他 * 特定行為看護師研修参加者の実習受入 救急パッケージ分野 1 人 栄養・せん妄分野 1 人 * メール会議の実施
--	---

26. 超音波診断装置管理委員会

構 成 人 員	委 員 長	七里泰正(副院長)
	副委員長	益澤明(化学療法部診療部長)
	メン バ ー	診 療 局 木股正樹(循環器内科診療部長)
		医 療 技 術 局 金子裕(臨床検査部), 森亘平(臨床検査部), 上田紘平(臨床検査部)
		看 護 局
	事務局他	川勝正範(経営管理課), 澤山遼(施設契約課)、平井洋平(医療情報システム室)
	庶務担当	田口なおみ(臨床検査部)
	会 議	随時開催 サイボウズを活用したメール会議
	活動内容	開催日 2021 年 4 月 23 日 2022 年 3 月 3 日 議題 ・8B konica Minolta Sonimage P3 の後継機種について ・8B Voluson・e のプリンター故障の件

◆ 病院運営関係

27. 安全衛生委員会

構 成 人 員	委 員 長	中尾光成(医療情報センター長)
	副委員長	廣田伸之(脳神経内科診療部長), 渡邊良子(看護局長)
	メン バ ー	診 療 局 中尾光成(臨床検査部診療部長), 小橋裕明(整形外科診療部長), 高見史朗(救急診療科診療部長)
		医 療 技 術 局 田口一也(臨床検査部副参事), 山中理(薬剤部)

		看護局	原田緑(7A副師長), 寺田麻子(3B副師長), 谷口敦美(8A 副師長), 飯田史朗(6A 副師長), 山下亜希(外来部副師長)
		事務局他	堀瀬和雄(事務局次長), 松下光正(医療情報システム室長), 平井洋平(医療情報システム室), 長田憲(施設契約課)
庶務担当			和田裕也(医療情報システム室)
会 議			随時開催
活動内容			次の会議を行いました。 議題:総合医療情報システムの更新について 日時:令和3年3月11日(火) 形態:メール会議

28. 総合医療情報システム委員会

構 成 人 員	委 員 長		中尾光成(医療情報センター長)
	副委員長		廣田伸之(脳神経内科診療部長), 渡邊良子(看護局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	小橋裕明(整形外科診療部長), 高見史朗(救急診療科診療部長)
		医 療 技 術 局	田口一也(臨床検査部技師長), 山中理(薬剤部)
		看護局	中里玉美(ER 師長), 高木文子(ICU 師長), 寺田麻子(3B 副師長), 飯田史朗(8B 副師長), 山下亜希(外来部副師長)
事務局他		堀瀬和雄(事務局次長), 松下光正(医療情報システム室長), 平井洋平(医療情報システム室), 長田憲(施設契約課)	
庶務担当			和田裕也(医療情報システム室)
会 議			随時開催
活動内容			メール会議(総合医療情報システムの切替予定日の変更について) メール会議(電子カルテシステムの機能変更及び部門システムの更新について) メール会議(電子カルテシステムの切り替えについて)

29. 情報セキュリティ委員会

構 成 人 員	委 員 長		中尾光成(医療情報センター長)
	副委員長		高見史朗(診療局長)
	メン バ ー	医 療 技 術 局	阿部史誉(薬剤部副薬剤長)
		看 護 局	渡邊良子(看護局長)
		事務局他	高野早人(事務局長), 堀瀬和雄(事務局次長), 松下光正(医療情報システム室長), 平井洋平(医療情報システム室)
庶務担当			和田裕也(医療情報システム室)
会 議			随時開催
活動内容			USB 接続機器使用状況等点検報告書

30. 広報委員会

構 成 人 員	委 員 長		光吉明(副院長)
	副委員長		高見史朗(診療局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	峠岡佑典(内科), 田中順子(健診センター診療部長)
		医 療 技 術 局	三島賀美(臨床検査部), 畑田みなみ(臨床工学部)
		看 護 局	西村由香(看護局参事), 吉田すみ子(手術部師長), 中里玉美(ER 師長)
		事務局他	高野早人(事務局長), 山澤弘子(地域医療連携室)
庶務担当			行徳美佑貴(経営管理課)

会 議	随時開催
活動内容	【開催実績】 病院広報誌、病院年報等、病院広報活動の報告・情報共有と協議を行った。 第 1 回:2021 年 6 月 8 日(火) ←Web 会議方式 第 2 回:2021 年 9 月 6 日(月) ←Web 会議方式 第 3 回:2022 年 1 月 14 日(金) ←Web 会議方式

31. 医療機器選定委員会

構 成 人 員	委 員 長		若林直樹(院長)
	副委員長		七里泰正(副院長)
	メ ン バ ー	診 療 局	戸田省吾(副院長), 高見史朗(診療局長)
		医 療 技 術 局	南一男(医療技術局次長), 田口一也(臨床検査部技師長), 木村啓志(臨床工学部技師長)
		看 護 局	西村由香(看護局次長), 吉田すみ子(手術部師長)
		事務局他	高野早人(事務局長), 堀瀬和雄(事務部長), 大石達也(施設契約課長)
庶務担当		長田憲(施設契約課)	
会 議		随時開催	
活動内容			機器の購入又は賃借については、下記のとおり委員会で協議し、選定等を行った 第1回 令和3年6月15日(火) 本館9階 第2会議室 第2回 令和3年7月15日(木) 本館9階 会議室B・C 第3回 令和3年8月5日(木) メール会議 第4回 令和3年8月24日(火) 本館9階 会議室A・B 第5回 令和3年9月6日(月) 放射線治療棟2階 第6回 令和3年10月14日(木) 放射線治療棟2階 第7回 令和3年11月25日(木) 放射線治療棟2階 第8回 令和3年12月23日(木) 放射線治療棟2階 第9回 令和4年1月25日(火) 放射線治療棟2階 第10回 令和4年2月17日(木) 放射線治療棟2階 また、その他医療機器等のデモンストレーションについても、25件の承認を行った

32. 診療材料購入委員会

構 成 人 員	委 員 長		若林直樹(院長)
	副委員長		七里泰正(副院長), 高見史朗(診療局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	小橋裕明(診療局次長・整形外科診療部長), 橘強(外来通院手術部診療部長), 木股正樹(循環器内科診療部長), 千葉玲哉(救急診療科副診療部長)
		医 療 技 術 局	南一男(放射線部技師長), 田口一也(臨床検査部技師長), 木村啓志(臨床工学部技師長)
		看 護 局	須佐美智子(看護局次長), 吉田すみ子(手術部師長)
		事務局他	堀瀬和雄(事務部長・経営管理課長), 大石達也(施設契約課長)
庶務担当			元持卓(施設契約課)
会 議			1 回／月 開催
活動内容			活動報告 2021 年 6 月、9 月、10 月、12 月 2022 年 1 月、3 月開催 1. 新規物品採用 2. 物品の切替

33. 病院機能評価委員会

月	委 員 長	光吉明(副院長)
---	-------	----------

メンバー	副委員長		高見史朗(診療局長)
	診療局	峠岡佑典(内科), 田中順子(健診センター診療部長)	
	医療技術局	三島賀美(臨床検査部), 畑田みなみ(臨床工学部)	
	看護局	西村由香(看護局参事), 吉田すみ子(手術部師長), 中里玉美(ER 師長)	
	事務局他	高野早人(事務局長), 山澤弘子(地域医療連携室)	
庶務担当			行徳美佑貴(経営管理課)
会議			随時開催
活動内容			【開催実績】 病院広報誌、病院年報等、病院広報活動の報告・情報共有と協議を行った。 第1回:2021年6月8日(火) ←Web 会議方式 第2回:2021年9月6日(月) ←Web 会議方式 第3回:2022年1月14日(金) ←Web 会議方式

◆ 地域医療関係

34. 地域医療連携推進協議会

構 成 人 員	委 員 長		重永博(大津市医師会長)
	メン バー	診 療 局	若林直樹(院長), 中嶋敏広(副院長/地域医療連携室担当部長), 高見史朗(診療局長)
		医 療 技 術 局	
		看 護 局	渡邊良子(看護局長)
		事務局他	高野早人(事務局長), 鈴木幸子(医事課長), 上林五月(訪問看護ステーション所長) その他院外委員
庶務担当			山澤弘子(地域医療連携室長)
会 議			2 回／年 開催
活動内容			第1回【全体会】 開催日: 令和 3 年 8 月 19 日(木) 会議内容: 1. 委員の紹介、委員長・副委員長・部会長の選出 2. 議題 1) 年間スケジュール 2) COVID-19 の受診状況について 3) 報告事項 (1) 経営幹部体制について (2) 地域医療連携室の移転、入退院センターの拡充について (3) 市立大津市民病院 地域医療連携の会(R3/11/6(土)開催)について (4) 各種イベントについて 4) 大津市民病院訪問看護ステーションの現状と実績 5) 当院地域医療連携についてのご意見・ご要望 第2回【医療関係団体部会】 開催日: 令和 4 年 2 月 10 日(木) 会議内容: 1. 報告・協議事項 1) 病診連携状況について

	2) 救急受入状況について 3) 感染症 ER 運用状況について 4) 地域医療支援研修実績報告について 5) 当院についてのご意見・ご要望
--	---

35. 地域災害医療対策委員会

構 成 人 員	委 員 長	中嶋敏宏(地域医療連携室担当部長)
	副委員長	千葉玲哉(救急診療科副診療部長), 高野早人(事務局長)
	メ ン バ ー	診 療 局 中嶋敏宏(副院長), 小橋裕明(整形外科診療部長)
	医 療 技 術 局	山藤隆晃(臨床検査部), 松本恵子(栄養部技師長), 武田彬伸(薬剤部), 廣瀬元(臨床工学部)
	看 護 局	中里玉美(3B 師長), 中野淳子(ER), 水嶋将吾(ICU), 森俊之(ICU)
	事務局他	上野隆平(総務課長), 鈴木幸子(医事課長), 大石達也(施設契約課長)
	庶務担当	宮本直樹(総務課)
	会 議	随時開催
	活動内容	開催実績なし

◆ 倫理・研究・教育関係

36. 医療倫理委員会

構 成 人 員	委 員 長	七里泰正(副院長)
	副委員長	須佐美智子(看護局次長)
	メ ン バ ー	診 療 局 中嶋敏宏(副院長), 橘強(外来通院手術部診療部長), 藤原克次(心臓血管外科(血管部門)診療部長), 津田真(緩和ケア科診療部長), 石井通予(内科(糖尿病・内分泌)診療部長), 中澤純(内科(腎臓内科)診療部長)
	医 療 技 術 局	早川太朗(薬剤長), 森亘平(臨床検査部)
	看 護 局	川島もと子(看護局参事), 内田美智代(8A 師長), 山田久美(外来師長)
	事務局他	高野早人(事務局長) 必要に応じて院外委員
	庶務担当	山元春奈・田中梨菜(総務課)
	会 議	随時開催
	活動内容	令和3年度医療倫理委員会(全7回)

37. 受託研究審査委員会

構 成 人 員	委 員 長	七里泰正(副院長)
	副委員長	藤原克次(心臓血管外科(血管部門)診療部長)
	メ ン バ ー	診 療 局 中嶋敏宏(副院長), 石井通予(内科(糖尿病・内分泌)診療部長)
	医 療 技 術 局	中山英夫(薬剤部参事), 瀧井さち子(臨床検査部副技師長)
	看 護 局	須佐美智子(看護局次長),
	事務局他	上野隆平(総務課長)
	庶務担当	富江新(治験管理センター), 山元春奈(治験管理センター)
	会 議	随時開催
	活動内容	開催なし

38. 研究利益相反審査委員会

構 成 人 員	委 員 長		若林直樹(院長)
	副委員長		西村由香(看護局次長)
	メン バー	診療局	七里泰正(副院長), 中嶋敏宏(副院長), 中尾光成(内科統括診療部長), 藤原克次(心臓血管外科(血管部門)診療部長), 津田真(緩和ケア科診療部長)
		医 療 技術局	中山英夫(薬剤部参事)
		看 護 局	西村由香(看護局次長)
庶務担当			富江新, 山元春奈(治験管理センター)
会 議			随時開催
活動内容			開催なし

39. 学術図書委員会

構 成 人 員	委 員 長		石井通予(内科(糖尿病・内分泌)診療部長)
	副委員長		吉田尚平(内科)
	メ ン バ ー	診 療 局	光吉明(副院長), 津田真(緩和ケア科診療部長), 中島潤(消化器内科), 峠岡佑典(内科), 益澤尚子(病理診断科診療部長)
		医 療 技 術 局	松井里美(臨床検査部), 神原諒(薬剤部), 坂東大輔(放射線部), 生田悦子(リハビリテーション部), 奥村博一(臨床工学部), 新田綺咲(栄養部)
		看 護 局	堀田美紀(9A 師長), 松見裕子(外来副師長)
		事務局他	山本果歩(経営管理課)
庶務担当		山元春奈・田中梨奈(総務課)	
会 議		随時開催	
活動内容		第1回開催日 令和3年8月18日(水) 議題: 1、委員の紹介 2、令和2年度 病院雑誌(第22号)発刊について(ご報告) 3、令和3年度 学術図書委員会の事業概要 第2回開催日 令和3年11月4日(木) 議題: 1、年間購読雑誌の購入について 2、規約・ガイドラインの購入について	

40. 脳死判定委員会

構 成 人 員	委 員 長		廣田伸之(脳神経内科診療部長)
	副委員長		千葉玲哉(救急診療科診療部長)
	メ ン バ ー	診 療 局	高見史朗(診療局長), 高山柄哲(脳神経外科診療部長)
		医 療 技 術 局	早川太朗(薬剤部薬剤長), 田口なおみ(臨床検査部副参事)
		看 護 局	横谷恵(6B師長), 木下朗子(ICU 副師長)
		事務局他	高野早人(事務局長), 山中利加(医療の質・安全管理室参事)
庶務担当			宮本直樹(総務課)
会 議			随時開催
活動内容			開催実績なし

41. 医科臨床研修管理委員会

構 成 人 員	委 員 長		若林直樹(院長)
	副委員長		城正泰(臨床研修センター長)
	メン バ ー	診 療 局	高見史朗(診療局長), 橘強(臨床研修センター次長), 中澤純(臨床研修センター次長), 中嶋敏宏(小児科診療部長), 橋口光子(麻酔科診療部長), 千葉玲也(救急診療科副診療部長), 石井健太(臨床研修センター), 金銅大祐(臨床研修センター)
		医 療 技 術 局	戸田省吾(医療技術局長)
		看 護 局	西村由香(看護局次長)
		事務局他	高野早人(事務局長) 院外委員 19 名
庶務担当			宮本直樹・田中梨奈(臨床研修センター)
会 議			年 2～3 回開催
活動内容			第1回 議題 1 令和3年度研修医について 2 令和3年度研修医ローテーションについて 3 令和3年度地域医療研修について 4 令和4年度市立大津市民病院初期臨床研修プログラムについて 5 令和4年度研修医 募集要項およびスケジュールについて 6 もみじが丘診療所閉院に伴う立神委員の退任について 7 第2回研修管理委員会について 第2回 1 令和3年度研修概要について 2 令和2年度採用研修医の進路及び令和4年度研修予定者について 3 令和4年度臨床研修体制について 4 令和2年度採用研修医の修了認定について

42. 歯科臨床研修管理委員会

構 成 人 員	委 員 長		若林直樹(院長)
	副委員長		城正泰(臨床研修センター長)
	メン バ ー	診療局	寺村千俊(歯科口腔外科診療部長), 橘強(臨床研修センター次長), 中澤純(臨床研修センター次長)
		事務局他	古藤博司(大津市歯科医師会(K Dental Clinic)), 高野早人(事務局長)
庶務担当			宮本直樹・田中梨奈(臨床研修センター)
会 議			年 2～3 回開催
活動内容			第1回 令和3年8月30日 議題 1 令和4年度歯科医師臨床研修プログラムについて 2 歯科医師臨床研修の制度改正について 第2回 令和4年2月28日 議題 1 研修医修了認定について 2 研修修了予定者の進路について

43. 院内教育・研修委員会

構 成 人 員	委 員 長		光吉明(副院長)
	副委員長		高野早人(事務局長), 西村由香(看護局次長)
	メン バ ー	診療局	橘強(外科・消火器外科・乳腺外科(乳腺部門)診療部長), 城正泰(消化器内科)

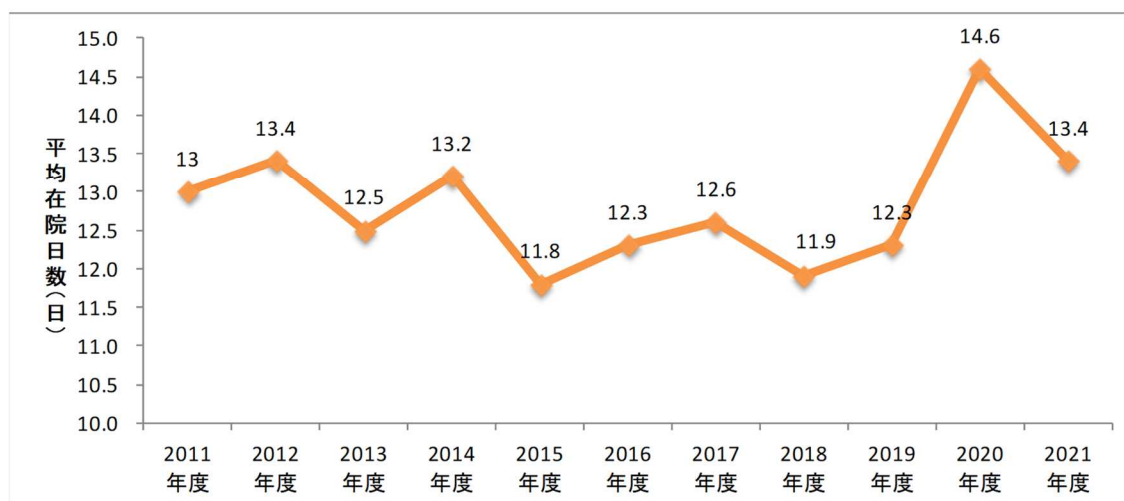
	医療技術局	吉村規子(臨床工学部副技師長), 田口一也(臨床検査部技師長)
	看護局	奥村紀子(7B師長), 仁志出幸子(5A 副師長)
	事務局他	難波紀代子(患者相談支援室), 荒銭浩太郎(総務課), 西津剛志(施設契約課)
庶務担当		富江新・山元春奈(総務課)
会 議		随時開催
活動内容		開催なし

統計資料

【平均在院日数年次推移】

(単位: 日)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
平均在院日数	13	13.4	12.5	13.2	11.8	12.3	12.6	11.9	12.3	14.6	13.4



【平均在院日数年次推移(診療科別)】

(単位: 日)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	前年同期差
内科	14.4	14.6	14.6	13.9	10.9	-3.0
消化器内科	7.7	8.2	7.7	10.7	9.6	-1.1
呼吸器内科	17.3	17.7	16.1	18.2	13.6	-4.6
呼吸器外科	5.3	4.6	5.4	5.9	5.4	-0.5
小児科	5.5	5.2	4.0	4.6	4.3	-0.3
外科	10.2	12.0	10.4	11.7	11.8	0.1
整形外科	16.9	15.6	15.1	17.3	15.3	-2.0
産婦人科	9.9	9.4	6.5	7.2	9.0	1.8
眼科	2.6	2.7	1.3	1.4	1.6	0.2
耳鼻咽喉科	6.4	5.9	4.9	7.2	7.3	0.1
泌尿器科	9.8	10.5	10.3	9.8	10.7	0.9
皮膚科	13.4	13.9	14.5	15.2	9.9	-5.3
歯科口腔外科	3.4	3.2	2.1	1.9	2.5	0.6
脳神経外科	13.6	12.8	13.6	17.7	14.8	-2.9
脳神経内科	16.3	15.3	14.4	18.2	16.5	-1.7
心臓血管外科	8.6	8.0	6.6	12.0	10.9	-1.1
循環器内科	7.5	8.9	9.1	10.3	10.0	-0.3
精神・心療内科	5.7	7.5	9.2	16.5	11.3	-5.2
緩和ケア科	26.4	24.2	20.9	10.4	5.1	-5.3
病院全体	12.6	11.9	12.3	14.6	12.7	-1.9

【2021 年度 診療科別患者数(入院・外来)】

(単位:人)

診療科	入院患者数		外来患者数	
	年間延患者数	1 日平均患者数	年間延患者数	1 日平均患者数
内科	21, 130	57. 9	32, 891	135. 9
消化器内科	14, 598	40. 0	17, 653	72. 9
呼吸器内科	8, 967	24. 6	8, 585	35. 5
呼吸器外科	992	2. 7	1, 230	5. 1
小児科	1, 247	3. 4	7, 323	30. 3
外科	10, 708	29. 3	10, 607	43. 8
整形外科	10, 666	29. 2	15, 265	63. 1
産婦人科	150	0. 4	3, 361	13. 9
眼科	431	1. 2	6, 558	27. 1
耳鼻咽喉科	1, 435	3. 9	6, 284	26. 0
泌尿器科	6, 575	18. 0	10, 536	43. 5
皮膚科	1, 622	4. 4	9, 962	41. 2
歯科口腔外科	1, 023	2. 8	14, 166	58. 5
放射線科	0	0	3, 344	13. 8
脳神経外科	9, 154	25. 1	7, 691	31. 8
脳神経内科	7, 757	21. 3	6, 816	28. 2
心臓血管外科	2, 034	5. 6	2, 813	11. 6
循環器内科	8, 250	22. 6	13, 396	55. 4
精神・心療内科	659	1. 8	10, 063	41. 6
緩和ケア科	895	2. 5	35	0. 1
合計	108, 293	296. 7	189, 054	781. 2

※入院日数 365 日 外来診療日数 242 日

※入院については、転棟・転科を除く。

【2021 年度 入院患者数推移(診療科別・月別)】

上段…新入院患者 下段…入院患者延べ数

	内科	消化器内科	呼吸器内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	皮膚科	歯科
4月	114	102	56	20	48	35	1	17	11	51	6	26
	1,852	1,278	852	56	664	879	19	34	109	556	165	74
5月	117	107	37	35	66	37	0	19	11	37	6	18
	1,914	1,346	935	150	897	906	0	38	77	404	138	78
6月	118	99	45	33	65	33	0	9	20	51	11	22
	1,828	1,181	757	144	936	896	0	18	181	473	125	86
7月	102	97	44	35	54	24	0	12	17	50	13	25
	1,649	1,214	810	170	1,029	679	0	24	197	623	117	97
8月	183	104	44	37	74	26	0	13	10	55	16	30
	2,138	1,012	834	223	978	612	0	23	122	721	150	102
9月	139	96	31	26	63	30	1	14	19	46	5	26
	1,865	1,097	674	96	932	620	14	31	120	681	118	86
10月	88	102	40	20	69	43	1	19	16	44	2	25
	1,467	1,106	563	93	1,094	853	18	38	138	561	40	66
11月	74	108	35	21	66	43	1	16	19	46	15	18
	1,449	1,209	700	92	879	898	12	29	92	515	131	73
12月	78	115	27	20	62	52	2	16	21	42	6	20
	1,520	1,279	604	69	890	1,093	31	48	130	544	170	70
1月	114	92	64	17	61	49	3	16	12	41	6	24
	1,921	1,162	709	66	970	1,285	27	47	90	462	137	62
2月	98	115	82	12	48	44	0	16	15	48	7	23
	1,751	1,270	678	30	849	1,067	15	33	81	496	132	121
3月	87	107	49	24	24	21	1	33	17	40	8	28
	1,776	1,444	851	58	590	878	14	68	98	539	199	108
合計	1,312	1,244	554	300	700	437	10	200	188	551	101	285
	21,130	14,598	8,967	1,247	10,708	10,666	150	431	1,435	6,575	1,622	1,023

	脳神経外科	心臓血管	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	心療内科	緩和ケア科	合計	入院	退院
4月	23	5	7	27	37	5	1	592		
	683	204	56	607	574	77	15	8,754	592	578
5月	29	14	11	27	39	3	0	613		
	652	213	78	515	564	51	6	8,962	613	632
6月	33	10	10	38	56	4	0	657		
	676	149	91	708	690	40	0	8,979	657	624
7月	30	12	7	32	57	7	0	618		
	562	189	52	857	673	13	0	8,955	618	651
8月	32	14	7	22	58	4	0	729		
	728	171	76	711	692	122	0	9,415	729	689
9月	34	14	10	29	49	3	0	635		
	647	136	93	772	577	59	0	8,618	635	661
10月	36	9	5	25	46	2	1	593		
	710	143	88	700	678	28	24	8,408	593	612
11月	39	8	8	26	69	3	2	617		
	804	126	93	471	852	35	153	8,613	617	579
12月	40	11	10	32	64	2	4	624		
	979	176	110	526	760	50	152	9,201	624	670
1月	36	9	8	26	53	1	4	636		
	1,018	166	86	734	771	64	177	9,954	636	547
2月	36	10	8	22	43	4	5	636		
	872	159	75	625	689	71	171	9,185	636	649
3月	32	8	8	18	45	3	9	562		
	823	202	94	531	730	49	197	9,249	562	635
合計	400	124	99	324	616	41	26	7,512		
	9,154	2,034	992	7,757	8,250	659	895	108,293	7,512	7,527

※上段の新入院患者数
には転棟・転科分を
含んでいない。

【2021 年度 外来患者数推移(診療科別・月別)】

上段…新患者

	内科	消化器内科	呼吸器内科	呼吸器外科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科
4月	346 2,412	66 1,166	28 738	6 103	39 338	21 799	41 934	6 251	6 485	33 419	27 793
5月	240 2,085	37 919	20 543	3 67	25 307	17 714	40 826	3 181	3 436	24 353	19 679
6月	191 2,210	112 1,399	25 730	5 86	50 477	33 917	83 1,066	8 320	16 565	51 554	34 865
7月	331 2,470	130 1,394	28 761	9 109	59 487	32 909	100 1,148	11 300	21 535	51 552	37 846
8月	506 2,661	139 1,241	37 729	5 84	52 554	37 803	98 1,166	7 242	24 525	50 515	37 804
9月	272 2,339	152 1,462	29 717	8 103	75 498	17 886	107 1,135	12 342	17 513	38 492	34 875
10月	259 2,358	184 1,603	66 834	4 111	63 507	34 896	143 1,228	7 368	23 576	44 596	27 918
11月	319 2,248	163 1,402	61 753	5 87	64 446	34 841	123 1,178	4 310	17 523	36 475	28 754
12月	434 2,579	119 1,434	39 780	3 92	92 521	27 838	118 1,298	14 302	20 624	44 510	25 862
1月	584 2,623	117 1,276	32 731	3 118	88 495	26 817	78 1,056	7 216	5 470	31 419	19 806
2月	323 2,203	122 1,267	31 701	2 107	76 461	19 760	89 1,064	14 259	10 505	47 503	37 771
3月	331 2,507	153 1,600	39 821	2 104	81 596	35 987	107 1,363	9 416	23 634	51 639	33 952
合計	4,136 28,695	1,494 16,163	435 8,838	55 1,171	764 5,687	332 10,167	1,127 13,462	102 3,507	185 6,391	500 6,027	357 9,925
	歯科	放射線科	脳神経外科	心臓血管	呼吸器外科	形成外科	脳神経内科	循環器内科	心療内科	緩和ケア科	合計
4月	309 1,120	83 260	77 603	10 243	2 113	4 37	55 578	26 1,178	30 764	0 3	1,649 15,237
5月	239 958	58 247	61 563	4 235	6 89	0 38	46 508	32 1,022	27 691	0 1	1,721 13,872
6月	285 1,183	79 255	83 665	11 240	3 87	0 47	52 545	32 1,058	36 790	0 2	1,585 15,820
7月	281 1,124	72 263	73 602	7 250	4 114	4 41	49 582	25 1,122	49 838	0 0	1,661 15,633
8月	301 1,200	60 331	88 681	5 229	5 90	1 35	42 560	38 1,091	48 851	0 0	2,361 16,634
9月	283 1,220	82 239	61 598	4 230	9 99	0 35	54 630	37 1,152	53 909	0 0	1,645 16,019
10月	292 1,257	85 297	87 658	12 247	6 113	0 37	50 646	38 1,165	42 919	0 1	1,560 15,861
11月	343 1,270	105 366	113 741	7 246	5 100	2 56	65 601	55 1,154	49 878	0 3	1,699 15,693
12月	314 1,309	81 260	102 703	6 255	6 109	4 40	50 618	50 1,224	35 895	3 5	1,636 16,390
1月	321 1,211	87 300	80 647	6 222	4 119	3 37	44 529	31 1,093	21 812	0 3	2,367 15,961
2月	245 1,124	76 293	62 597	10 177	5 89	0 25	50 475	28 949	42 803	4 9	2,375 15,182
3月	294 1,190	80 233	56 633	4 239	5 108	2 43	37 544	32 1,188	25 913	2 8	1,944 16,752
合計	3,507 14,166	948 3,344	943 7,691	86 2,813	60 1,230	20 471	594 6,816	424 13,396	457 10,063	9 35	22,203 189,054

【入院患者数推移(年度別月別)】

入院	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ患者数	2021	8,754	8,962	8,979	8,955	9,415	8,618	8,408	8,613	9,201	9,954	9,185	9,249	108,293	9,024
		95.9	135.7	122.2	100.9	95.6	96.8	90.6	92.8	96.6	116.9	117.5	103.6	104.1	
	2020	9,133	6,603	7,349	8,877	9,850	8,906	9,284	9,280	9,520	8,516	7,817	8,931	104,066	8,672
		85.9	61.9	75.7	94.9	100.8	90.4	93.4	93.3	94.5	83.0	79.4	85.8	86.4	
	2019	10,630	10,670	9,711	9,358	9,774	9,857	9,941	9,942	10,075	10,266	9,849	10,405	120,478	10,040
		102.8	96.9	91.3	87.5	88.1	97.1	101.7	96.3	100.2	96.3	96.1	93.8	95.6	
	2018	10,345	11,007	10,639	10,691	11,100	10,152	9,774	10,324	10,055	10,661	10,247	11,089	126,084	10,507
		98.0	104.3	108.9	106.4	110.3	98.7	86.8	94.7	88.7	95.6	101.0	102.5	99.4	
延べ患者数 上段:人 下段:% (対前年度同月比)	2017	10,552	10,557	9,769	10,047	10,060	10,283	11,257	10,900	11,340	11,148	10,141	10,814	126,868	10,572
		92.4	96.2	90.2	88.9	88.0	94.1	105.7	103.5	99.4	101.9	94.3	97.1	96.1	
入院患者数	2021	592	613	657	618	729	635	593	617	729	636	636	562	7,617	635
		114.5	168.9	123.3	95.2	112.5	104.6	92.9	98.4	112.8	132.5	113.2	87.1	110.2	
	2020	517	363	533	649	648	607	638	627	646	480	562	645	6,915	576
		67.1	48.7	73.5	92.7	89.3	86.8	88.9	87.6	93.5	66.3	83.3	100.2	81.0	
	2019	770	745	725	700	726	699	718	716	691	724	675	644	8,533	711
		99.5	93.1	96.5	86.8	86.8	95.2	89.6	88.4	98.6	91.0	90.2	87.5	91.8	
	2018	774	800	751	806	836	734	801	810	701	796	748	736	9,293	774
		98.6	98.5	95.8	92.3	98.4	92.7	93.4	95.7	83.9	94.3	98.4	87.7	94.1	
入院患者数 上段:人 下段:% (対前年度同月比)	2017	785	812	784	873	850	792	858	846	836	844	760	839	9,879	823
		89.7	97.2	91.1	98.3	88.8	94.6	97.1	98.1	99.8	93.2	93.7	97.6	97.9	
退院患者数	2021	578	632	624	651	689	661	612	579	670	546	648	635	7,525	627
		97.0	162.5	133.3	105.9	105.0	109.4	93.4	92.2	98.4	108.8	124.1	97.8	108.0	
	2020	596	389	468	615	656	604	655	628	681	502	522	649	6,965	580
		75.5	52.8	63.0	89.9	89.0	88.2	92.4	88.0	89.0	77.3	79.7	97.6	81.6	
	2019	789	737	743	684	737	685	709	714	765	649	655	665	8,532	711
		101.8	96.5	93.0	87.6	87.2	90.0	89.1	91.2	97.0	93.1	88.9	85.6	91.7	
	2018	775	764	799	781	845	761	796	783	789	697	737	777	9,304	775
		97.1	95.9	97.4	91.8	101.7	96.5	93.5	94.0	88.4	91.8	94.0	91.6	94.4	
退院患者数 上段:人 下段:% (対前年度同月比)	2017	798	797	820	851	831	789	851	833	893	759	784	848	9,854	821
		88.0	101.5	93.8	94.8	89.5	91.9	94.5	105.0	89.3	96.7	97.3	95.2	97.4	
1日平均患者数	2021	292	289	299	289	304	287	271	287	297	321	328	298	-	297
		96.1	135.7	122.0	101.0	95.6	96.6	90.6	92.9	96.7	116.7	117.6	103.5	-	104.1
	2020	304	213	245	286	318	297	299	309	307	275	279	288	-	285
		85.9	61.9	75.6	94.7	101.0	90.3	93.1	93.4	94.5	83.1	82.1	85.7	-	86.4
	2019	354	344	324	302	315	329	321	331	325	331	340	336	-	330
		102.6	96.9	91.3	87.5	88.0	97.3	101.9	96.2	100.3	96.2	92.9	93.9	-	95.6
	2018	345	355	355	345	358	338	315	344	324	344	366	358	-	345
		98.0	104.1	108.9	106.5	110.2	98.5	86.8	94.8	88.5	95.6	101.1	102.6	-	99.4
1日平均患者数 上段:人 下段:%	2017	352	341	326	324	325	343	363	363	366	360	362	349	-	348
		92.4	96.3	90.3	88.8	88.1	94.2	105.8	103.4	99.5	102.0	94.3	97.2	-	96.4
平均在院日数(全体) (日)	2021	13.7	13.5	13.1	12.6	12.2	12.0	12.0	12.3	12.5	13.3	13.1	13.4		
	2020	13.5	14.7	15.7	15.6	14.9	14.7	14.5	14.1	13.8	14.7	14.5	14.6		
	2019	12.5	12.6	12.2	12.1	11.7	11.7	11.9	12.1	12.3	12.5	12.8	12.4		
	2018	12.6	12.6	12.6	12.2	11.8	11.5	11.3	11.1	11.2	11.5	12.2	12.4		
	2017	12.8	13.0	12.9	11.9	11.6	12.2	12.7	12.9	12.6	12.8	12.7	12.7		

※上段の新入院患者数には転棟・転科分を含まない。

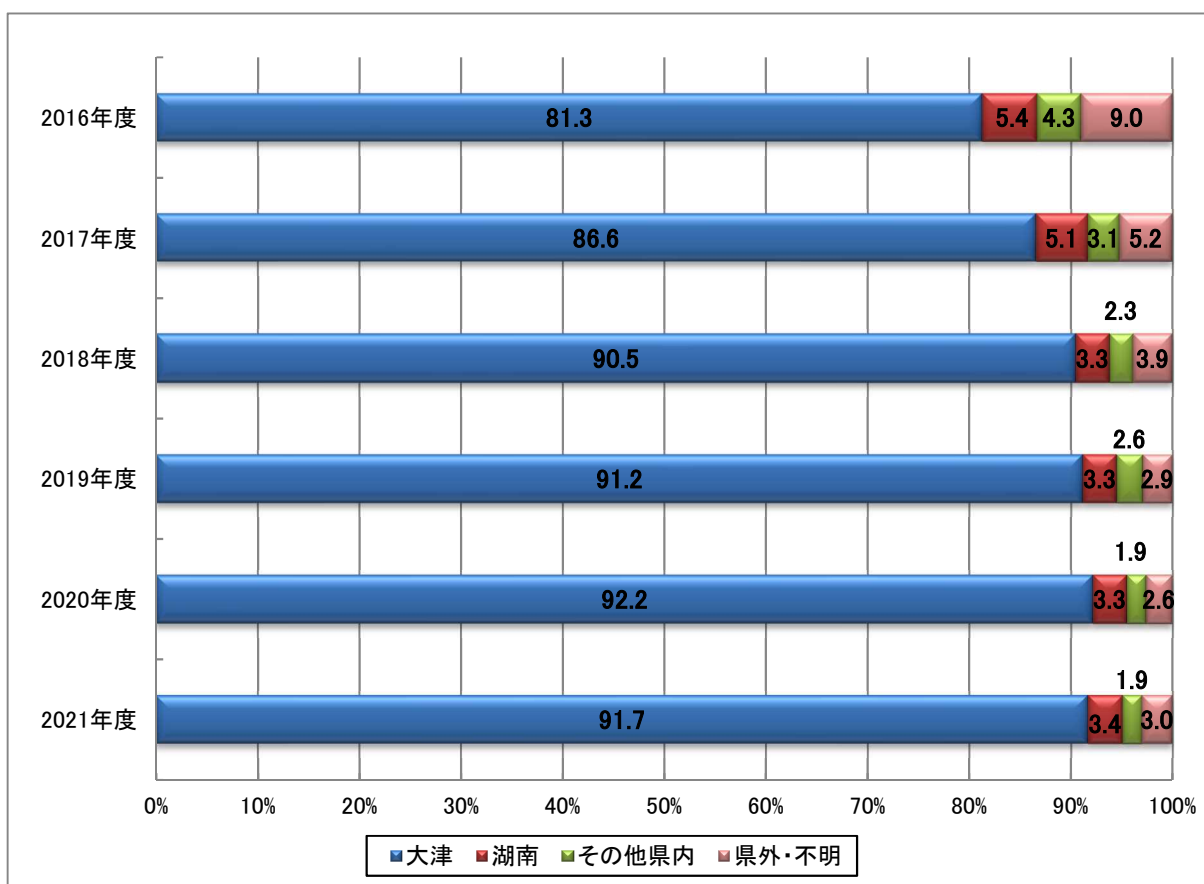
【外来患者数推移(年度別月別)】

外来	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ患者数	2021	15,237	13,872	15,820	15,633	16,634	16,019	15,861	15,693	16,390	15,961	15,182	16,752	189,054	15,755
		119.5	130.1	112.5	105.1	116.4	109.4	100.9	110.6	107.7	116.7	114.8	102.0	111.4	
	2020	12,747	10,665	14,061	14,875	14,285	14,645	15,716	14,187	15,224	13,673	13,221	16,416	169,715	14,143
		71.9	61.6	84.8	84.0	86.3	92.0	92.0	88.3	89.8	83.7	90.1	106.1	85.5	
	2019	17,728	17,309	16,590	17,712	16,558	15,922	17,075	16,073	16,947	16,345	14,679	15,471	198,409	16,534
		106.3	96.9	95.1	100.1	89.8	99.3	92.3	92.3	97.4	91.8	87.3	85.0	94.4	
	2018	16,680	17,869	17,449	17,696	18,430	16,037	18,496	17,410	17,395	17,806	16,813	18,206	210,287	17,524
		96.2	98.2	92.7	99.5	96.8	89.3	100.3	97.9	94.8	98.7	95.7	95.3	96.3	
	2017	17,337	18,197	18,824	17,777	19,033	17,957	18,439	17,778	18,356	18,033	17,569	19,101	218,401	18,200
		95.6	102.7	99.9	96.9	98.9	99.5	100.3	97.0	99.9	99.8	100.8	97.7	95.1	
	(対前年度同月比)														
1日平均患者数	2021	726	771	719	782	792	801	755	785	820	840	843	761	-	783
		119.6	130.0	112.5	110.5	110.9	109.4	105.7	105.1	107.8	116.7	114.7	106.6	-	112.1
	2020	607	593	639	708	714	732	714	747	761	720	735	714	-	699
		68.5	65.1	77.0	88.0	90.6	87.4	87.8	92.9	89.8	83.7	90.1	96.9	-	84.4
	2019	886	911	830	805	788	838	813	804	847	860	816	737	-	828
		106.2	107.1	99.9	95.5	98.4	94.1	96.7	97.0	92.5	91.8	92.2	81.0	-	95.8
	2018	834	851	831	843	801	891	841	829	916	937	885	910	-	864
		96.2	93.5	97.1	94.8	92.6	101.5	95.8	93.3	99.8	98.7	95.7	100.0	-	96.6
	2017	867	910	856	889	865	878	878	889	918	949	925	910	-	895
		95.7	97.6	100.0	96.9	99.0	97.3	95.5	96.9	94.9	99.8	106.1	102.4	-	95.1
	(対前年度同月比)														
新患者数	2021	1,649	1,721	1,585	1,661	2,361	1,645	1,560	1,699	1,636	2,367	2,375	1,944	22,203	1,850
		171.6	253.8	133.9	112.5	151.6	116.9	99.4	112.4	109.0	161.2	175.7	124.2	136.8	
	2020	961	678	1,184	1,476	1,557	1,407	1,569	1,511	1,501	1,468	1,352	1,565	16,229	1,352
		53.4	37.5	74.2	91.3	98.0	88.2	98.6	96.3	81.8	78.2	99.6	116.4	82.9	
	2019	1,799	1,810	1,596	1,616	1,588	1,596	1,591	1,569	1,836	1,877	1,358	1,344	19,580	1,632
		101.0	95.2	90.5	82.7	80.2	96.8	88.7	92.3	98.9	77.8	75.4	72.3	87.2	
	2018	1,782	1,902	1,763	1,953	1,979	1,649	1,794	1,700	1,856	2,412	1,800	1,860	22,450	1,871
		97.4	95.4	87.0	98.3	87.6	86.6	92.5	91.3	90.2	97.3	80.4	94.3	91.5	
	2017	1,829	1,993	2,027	1,986	2,259	1,905	1,939	1,861	2,057	2,479	2,238	1,973	24,546	2,046
		98.2	105.6	97.2	94.3	99.0	101.9	97.0	93.2	97.6	106.0	107.1	92.4	94.4	
	(対前年度同月比)														

【地域構成比年次推移(入院)】

(単位: %)

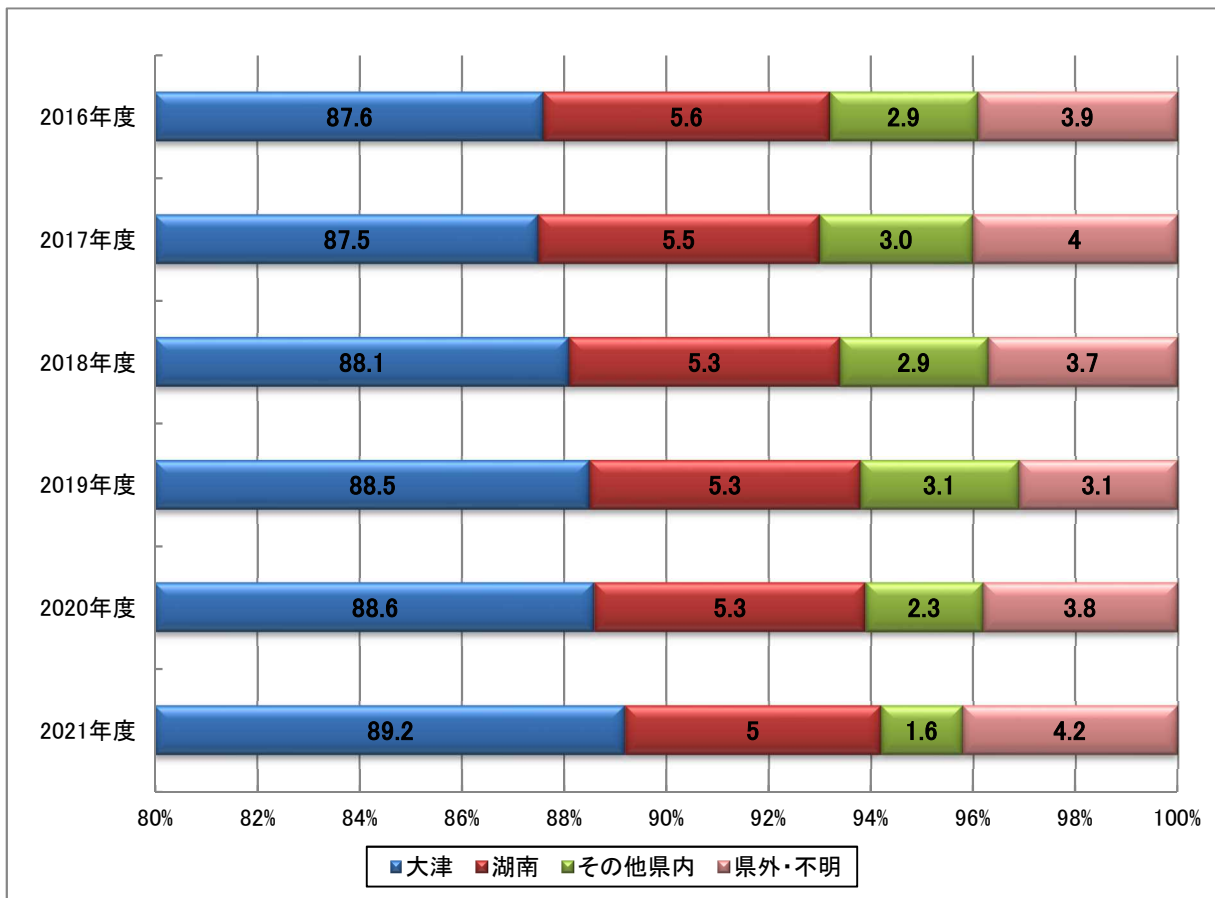
医療圏	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
大津	81.3	86.6	90.5	91.2	92.2	91.7
湖南	5.4	5.1	3.3	3.3	3.3	3.4
その他県内	4.3	3.1	2.3	2.6	1.9	1.9
県外・不明	9.0	5.2	3.9	2.9	2.6	3.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



【地域構成比年次推移(外来)】

(単位: %)

医療圏	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
大津	87.6	87.5	88.1	88.5	88.6	89.2
湖南	5.6	5.5	5.3	5.3	5.3	5.0
その他県内	2.9	3.0	2.9	3.1	2.3	1.6
県外・不明	3.9	4.0	3.7	3.1	3.8	4.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



【年齢階層別入院患者構成比推移】

年齢分類	2019 年度		2020 年度		2021 年度	
	実患者数	割合 (%)	実患者数	割合 (%)	実患者数	割合 (%)
0 歳	144	1.2	9	0.2	48	0.4
1～9 歳	489	4.1	221	2.2	256	2.4
10～19 歳	204	1.7	171	1.7	170	1.6
20～29 歳	320	2.7	287	2.9	297	2.8
30～39 歳	328	2.7	245	2.5	307	2.9
40～49 歳	556	4.6	459	4.6	532	5.0
50～59 歳	985	8.2	862	8.6	987	9.2
60～64 歳	700	5.8	624	6.2	662	6.2
65～69 歳	1,264	10.5	921	9.2	889	8.3
70～74 歳	1,592	13.3	1,417	14.2	1,652	15.4
75～79 歳	1,748	14.5	1,422	14.2	1,441	13.5
80～84 歳	1,672	13.9	1,393	13.9	1,383	12.9
85～89 歳	1,197	10.0	1,133	11.3	1,131	10.6
90 歳～	815	6.8	826	8.3	941	8.8
合計	12,014	100.0	9,990	100.0	10,696	100.0

【年齢階層別外来患者構成比推移】

年齢分類	2019 年度		2020 年度		2021 年度	
	実患者数	割合 (%)	実患者数	割合 (%)	実患者数	割合 (%)
0 歳	620	0.5	171	0.2	328	0.2
1～9 歳	5,381	4.7	3,291	3.4	4,050	3.8
10～19 歳	4,049	3.6	3,039	3.1	4,082	3.8
20～29 歳	4,359	3.8	3,854	4.0	5,263	4.9
30～39 歳	5,753	5.1	4,778	4.9	5,754	5.3
40～49 歳	11,707	10.3	9,336	9.7	10,477	9.7
50～59 歳	14,369	12.6	12,718	13.2	14,000	13.0
60～64 歳	7,783	6.8	6,773	7.0	7,629	7.1
65～69 歳	11,336	10.0	9,146	9.5	9,067	8.4
70～74 歳	15,442	13.6	14,029	14.5	15,389	14.3
75～79 歳	14,484	12.7	12,370	12.8	12,846	11.9
80～84 歳	10,060	8.9	9,275	9.6	9,967	9.3
85～89 歳	6,029	5.3	5,498	5.7	6,204	5.8
90 歳～	2,280	2.1	2,344	2.4	2,648	2.5
合計	113,652	100.0	96,622	100.0	107,704	100.0

【手術件数年次推移】

(単位:人)

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
患 者 数	4,027	3,888	3,635	3,675	2,515	2,822

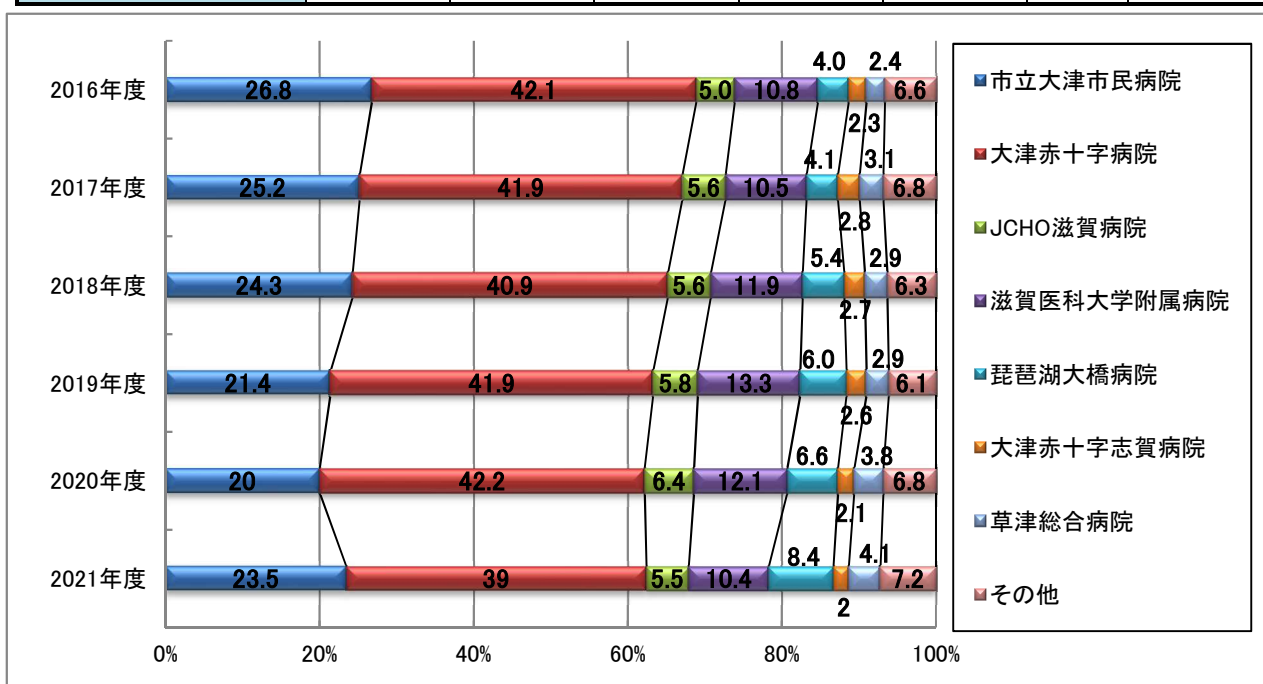
【救急患者数年次推移】

(単位:人)

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
患 者 数	19,034	18,918	17,664	15,849	11,791	15,905
うち入院	3,114	2,886	2,778	2,551	2,221	2,519
うち外来	15,920	16,032	14,886	13,298	9,570	13,386
救急車搬送数	4,203	4,097	3,915	3,481	2,808	3,674

【大津市消防局医療機関別搬送人員割合年次推移】

医療機関	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	人員 (人)
市立大津市民病院	26.8	25.2	24.3	21.4	20.0	23.5	3,590
大津赤十字病院	42.1	41.9	40.9	41.9	42.2	39.0	5,954
JCHO 滋賀病院	5.0	5.6	5.6	5.8	6.4	5.5	842
滋賀医科大学附属病院	10.8	10.5	11.9	13.3	12.1	10.4	1,582
琵琶湖大橋病院	4.0	4.1	5.4	6.0	6.6	8.4	1,282
大津赤十字志賀病院	2.3	2.8	2.7	2.6	2.1	2.0	303
草津総合病院	2.4	3.1	2.9	2.9	3.8	4.1	620
その他	6.6	6.8	6.3	6.1	6.8	7.2	1,099
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	15,272

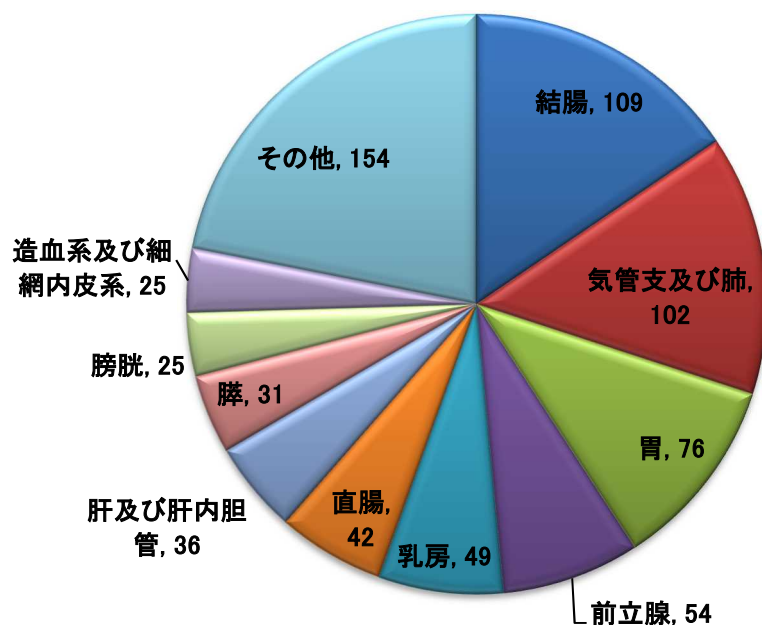


【2020 年院内がん登録統計】

対象：2020 年 1 月～12 月に初診された「がん」

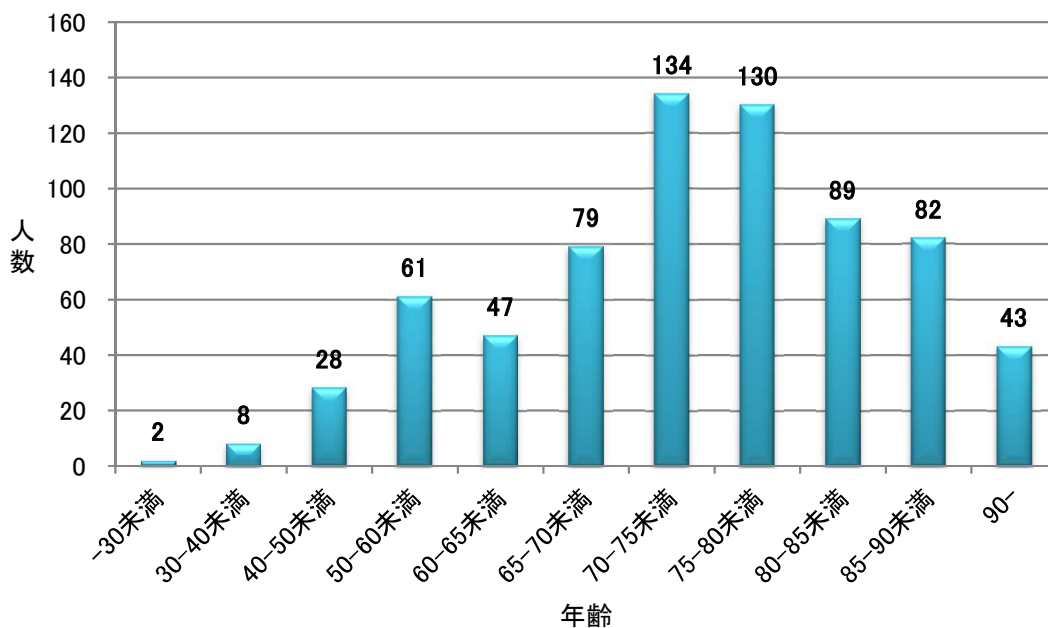
<部位（中分類）別上位 10>

	部位	件数	割合
1	結腸	109	15.5
2	気管支及び肺	102	14.5
3	胃	76	10.8
4	前立腺	54	7.7
5	乳房	49	7.0
6	直腸	42	6.0
7	肝及び肝内胆管	36	5.1
8	膵	31	4.4
9	膀胱	25	3.6
10	造血系及び細網内皮系	25	3.6
	その他	154	21.9
合計		703	100.0



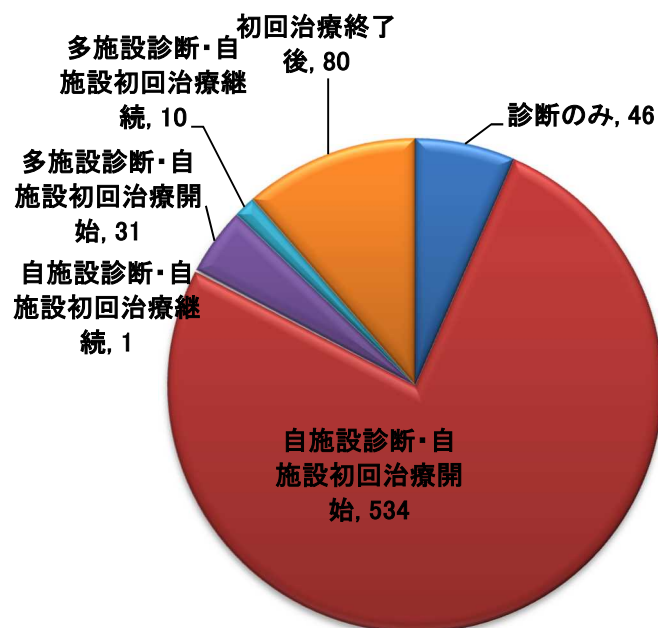
<年齢階層別>

年齢	-30未満	30-40未満	40-50未満	50-60未満	60-65未満	65-70未満	70-75未満	75-80未満	80-85未満	85-90未満	90以上	合計	平均年齢
人数	2	8	28	61	47	79	134	130	89	82	43	703	73.0
割合	0.3	1.1	4.0	8.7	6.7	11.2	19.1	18.5	12.7	11.7	6.1	100.0	



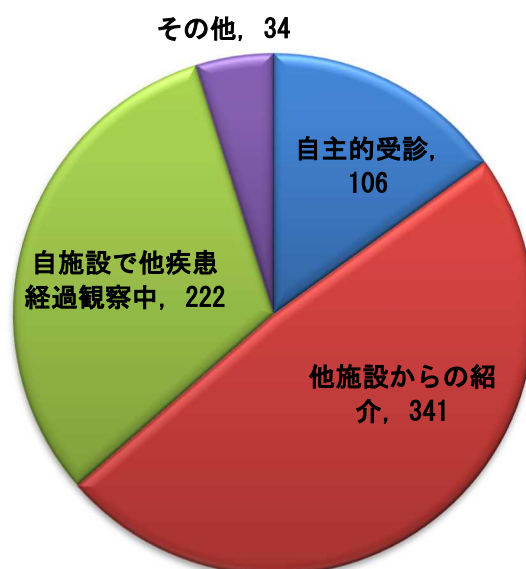
<症例区分別>

症例区分	件数	割合
診 断 の み	46	6.5
自施設診断・自施設 初 回 治 療 開 始	534	76.0
自施設診断・自施設 初 回 治 療 継 続	1	0.1
他施設診断・自施設 初 回 治 療 開 始	31	4.4
他施設診断・自施設 初 回 治 療 継 続	10	1.4
初 回 治 療 終 了 後	80	11.4
合 計	703	100.0



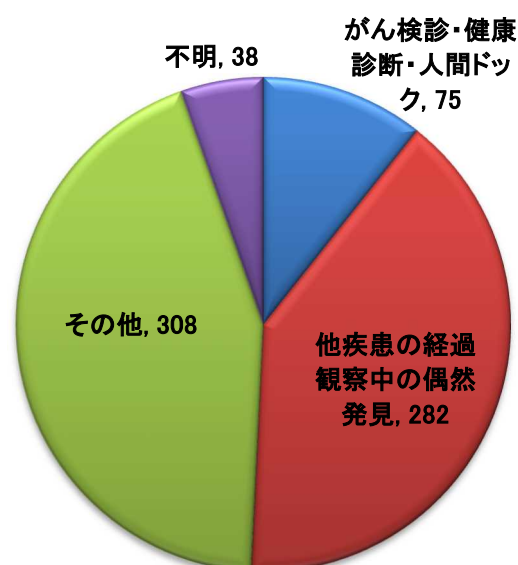
<来院経路別>

来院経路	件数	割合
自 主 的 受 診	106	15.1
他施設からの紹介	341	48.5
自施設で他疾患 経 過 観 察 中	222	31.6
そ の 他	34	4.8
合 計	703	100.0



<発見経緯別>

来院経路	件数	割合
がん検診・健康 診断・人間ドック	75	10.7
他疾患の経過観察 中の偶然発見	282	40.1
剖 検 発 見 (Aiを含む)	-	-
そ の 他	308	43.8
不 明	38	5.4
合 計	869	100.0



クオリティ・インディケーター

当院は、2013 年度から一般社団法人日本病院会のQI(クオリティ・インディケーター)プロジェクトに参加しています。QIは医療の質を表す指標で、病院経営の根幹を成すものです。経時的にQIを測定し、医療を透明化・可視化することで自院の立ち位置を知ることができます。

また、当院ではQIプロジェクトの指標の他にも、独自の指標(下表「医療実績」)を設けています。

これらの指標を観察・分析し、ISO9001 のPDCAサイクルをまわすことで、常に医療の質向上、バージョンアップに努めています。

2021 年度 医療実績

項 目	2021 年度	2020 年度	前年同期比較
平均在院日数	12.8 日	14.6 日	△1.8 日
一般病床利用率 (一般病床数) 2020 年度: 431 床 2021 年度: 401 床	75.3%	74.8%	+0.5%
紹介率*	66.5%	68.4%	△1.9%
逆紹介率*	89.3%	90.1%	△0.8%
手術件数	2,822 件	2,515 件	△307 件
救急ストップ時間	626 時間	843 時間	△217 時間
人間ドック受診者数	2,360 人	676 人	+1,684 人
入院患者満足度**	91.5%	89.5%	+2.0%
外来患者満足度**	86.7%	86.0%	+0.7%

* QIプロジェクトの指標にも含まれる。

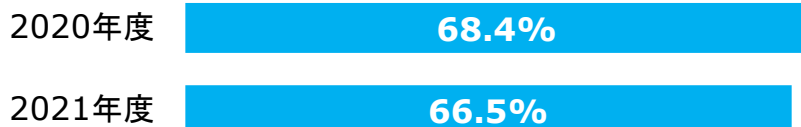
** 「この病院について総合的には満足している」という質問に対し、5 段階評価で「非常にそう思う」、「ややそう

思う」と回答した割合を掲載(患者本人および患者家族回答分を対象としているため、QIプロジェクトの患者満足度とは合致しない)。

2021 年度 QIプロジェクト実績(一般病床向け指標)

病 院 全 体

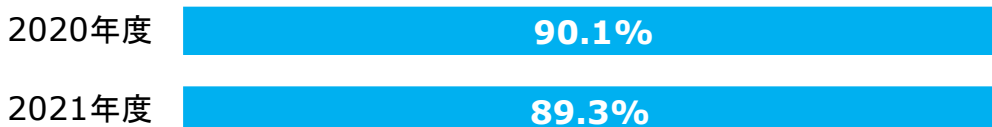
◆紹介率



分子 : 紹介初診患者数

分母 : 初診患者数-(休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数+休日・夜間の初診救急患者数)

◆逆紹介率



分子 : 逆紹介患者数

分母 : 初診患者数-(休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数+休日・夜間の初診救急患者数)

◆退院後 30 日以内の予定外再入院率

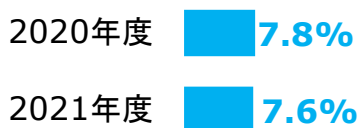


患者の中には、退院後 30 日以内に予定外の再入院をする人もいます。背景としては、初回入院時の治療が十分でなかったことや、患者の回復が不完全な状態での退院などの要因が考えられます。

分子 : 前回の退院日が 30 日以内の救急医療入院患者数

分母 : 退院患者数

◆18 歳以上の身体抑制率



分子 : (物理的)身体抑制を実施した患者延べ数

分母 : 18 歳以上の入院患者延べ数

◆死亡退院患者率

2020年度  3.4%

2021年度  2.8%

この数値については解釈に注意が必要です。その医療施設の特徴（職員数、病床数、救命救急センターや ICU の有無、平均在院日数、地域特性など）や、入院患者のプロフィール（年齢、性別、疾患の種類・重症度など）が異なるため、この数値から直接医療の質を比較することは適切ではありません。

分子：死亡退院患者数

分母：退院患者数

◆職員におけるインフルエンザワクチン予防接種率

2020年度  91.7%

2021年度  96.0%

分子：インフルエンザワクチンを予防接種した職員数

分母：職員数

患者満足

◆入院患者満足度

2020年度  89.5%

2021年度  91.5%

分子：「この病院について総合的には満足している」の設問に「非常にそう思う」、「ややそう思う」と回答した入院患者数

分母：患者満足度調査に回答した入院患者数

◆外来患者満足度

2020年度  86.0%

2021年度  86.7%

分子：「この病院について総合的には満足している」の設問に「非常にそう思う」、「ややそう思う」と回答した外来患者数

分母：患者満足度調査に回答した外来患者数

医療安全・感染

◆入院患者の転倒・転落発生率

2020年度  4.88 ‰

2021年度  4.55 ‰

患者に傷害が発生した事例はもちろん、傷害が発生しなかった事例も含めて、転倒・転落の原因や要因を分析することに意味があります。要因を特定し、分析した結果から明らかになった予防策を実施することが、傷害の予防に繋がります。

分子：医療の質・安全管理室ヘインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数

分母：入院延べ患者数

◆入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 2 以上)

2020年度  0.43 ‰

2021年度  0.61 ‰

分子：医療の質・安全管理室ヘインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル 2 以上の件数

分母：入院延べ患者数

◆入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 4 以上)

2020年度  0.06 ‰

2021年度  0.06 ‰

分子：医療の質・安全管理室ヘインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル 4 以上の件数

分母：入院延べ患者数

◆65 歳以上の入院患者における転倒・転落発生率

2020年度  **5.51 ‰**

2021年度  **5.42 ‰**

分子 : 65 歳以上の入院中の患者に発生した転倒・転落件数

分母 : 65 歳以上の入院延べ患者数

< 損 傷 レ ベ ル >		
1	な し	患者に損傷はなかった
2	軽 度	包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
3	中軽度	縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
4	重 度	手術、ギブス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷の診察が必要となった
5	死 亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
6	U T D	記録からは判定不可能

◆1 か月間・100 床当たりのインシデント・アクシデント発生件数

2020年度  **20.7件**

2021年度  **21.3件**

分子 : 調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント発生件数 × 100

分母 : 許可病床数

◆全報告中医師による報告の占める割合

2020年度  **1.0%**

2021年度  **0.8%**

分子 : 分母のうち医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数

分母 : 調査期間中のインシデント・アクシデント報告総件数

◆褥瘡発生率

2020年度  0.16%

2021年度  0.18%

褥瘡は患者の QOL(生活の質)低下をきたすとともに、治癒が長期に及ぶことで在院日数の長期化や医療費の増大にも繋がるため、看護ケアの質評価において、重要な指標の一つとしてとらえられています。1998 年からは診療報酬にも反映されるようになりました。

分子：調査期間における分母対象患者のうち、d2 以上の褥瘡の院内新規発生患者数

分母：入院延べ患者数

< 深 さ >	
d0	皮膚損傷・発赤なし
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮膚組織までの損傷
D4	皮膚組織をこえる損傷
D5	関節腔、体腔に至る損傷
DU	深さ判定が不能の場合

◆広域抗菌薬使用時の血液培養実施率

2020年度  46.2%

2021年度  44.0%

入院患者に広域抗菌薬を投与する際は、その患者の血液培養を実施することが望ましいとされています。

分子：投与開始初日に血液培養検査を実施した数

分母：広域抗菌薬投与を開始した入院患者数

◆血液培養実施時の 2 セット実施率

2020年度  91.9%

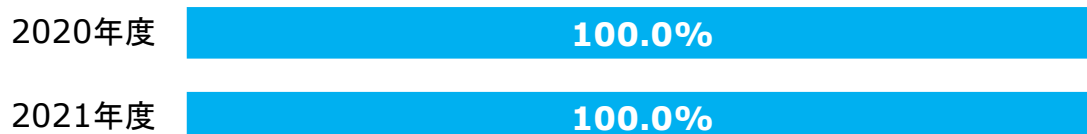
2021年度  91.6%

血液培養は、1 セットのみの場合の偽陽性による過剰治療を防ぐため、同日に 2 セット以上行うことが推奨されています。

分子：血液培養オーダーが 1 日に 2 件以上ある日数

分母：血液培養オーダー日数

◆特定術式における手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率

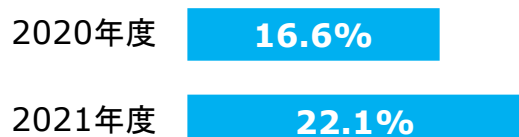


手術開始前 1 時間以内に適切な抗菌薬を静脈注射することで、手術部位感染 (SSI) を予防し、入院期間の延長や医療費の増大を抑えることができます。

分子 : 手術開始前 1 時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数

分母 : 特定術式の手術件数

◆特定術式における術後 24 時間 (心臓手術は 48 時間) 以内の予防的抗菌薬投与停止率

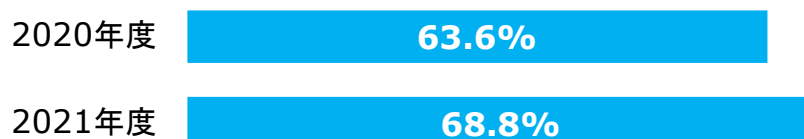


手術前後の抗菌薬投与で手術部位感染 (SSI) が予防できる可能性が高くなりますが、不必要に長期間投与することは、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大に繋がります。

分子 : 術後 24 時間以内に予防的抗菌薬投与が停止された手術件数 (心臓手術は 48 時間以内)

分母 : 特定術式の手術件数

◆特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率



予防的抗菌薬は、術中に細菌感染が起こることを予防することが目的です。そのため、術式により感染の可能性がある細菌 (皮膚の常在菌や消化管内の細菌等) がある程度想定されるため、推奨抗菌薬が定められています。

分子 : 術式ごとに適切な予防的抗菌薬が選択された手術件数

分母 : 特定術式の手術件数

◆尿道留置カテーテル使用率

2020年度 **14.9%**

2021年度 **15.0%**

尿路感染は医療関連感染の約 40%を占めており、そのうち 66～86%が尿道カテーテルなどの器具が原因です。一般的には重症化することなく無症状で経過することがほとんどですが、まれに膀胱炎、腎盂炎、敗血症に至ることがあるため、適切に管理することが重要です。

尿路感染症は医療関連感染の約 40%を占めており、そのうち 66～86%が尿道留置カテーテルなどの器具が原因とされています。一般的には重症化することなく無症状で経過することがほとんどですが、まれに膀胱炎、腎盂炎、敗血症に至ることがあるため、適切に管理することが重要です。

分子：尿道留置カテーテルが挿入されている入院延べ患者数

分母：入院延べ患者数

◆症候性尿路感染症発生率

2020年度 **0.5 ‰**

2021年度 **0.3 ‰**

尿路感染症は医療関連感染の約 40%を占めており、そのうち 66～86%が尿道留置カテーテルなどの器具が原因とされています。尿路感染症予防対策として、尿道留置カテーテルの適性使用・管理・早期抜去が重要となります。

分子：分母のうちカテーテル関連症候性尿路感染症の定義に合致した延べ回数

分母：入院患者における尿道留置カテーテル挿入延べ日数

◆統合指標(手術)

2020年度 **60.0%**

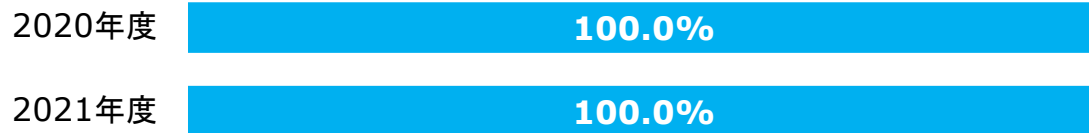
2021年度 **63.7%**

関連する下記 3 指標群のバンドル準拠率を示しています。

- ・特定術式における手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率
- ・特定術式における術後 24 時間以内(心臓手術は 48 時間以内)の予防的抗菌薬投与停止率
- ・特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

呼 吸 器 系

◆喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合

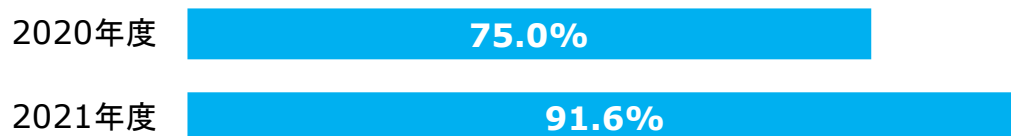


ガイドラインに沿った標準的治療の有無を見る指標であり、慢性期の中心的管理方法です。

分子：入院中に吸入ステロイド薬の処方を受けた患者数

分母：5歳以上の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した患者数

◆入院中にステロイドの経口・静注処方をされた小児喘息患者の割合



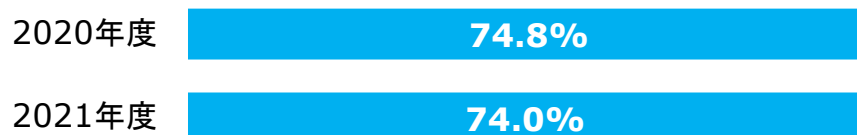
喘息発作の症状を素早く軽快し、重症度を下げるためにガイドラインで推奨されています。

分子：入院中にステロイドの全身投与（静注・経口）を受けた患者数

分母：2～15歳の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した患者数

脳 ・ 神 経 系

◆脳梗塞（TIA 含む）患者のうち入院2日目までの抗血栓・抗凝固療法を処方した割合



脳梗塞の治療に際しては、入院2日までに抗血栓もしくは抗凝固療法を開始することが推奨されています。

分子：入院2日までに抗血栓療法もしくは抗凝固療法を受けた患者数

分母：脳梗塞かTIAと診断された18歳以上の入院患者数

◆脳梗塞(TIA 含む)患者のうち抗血小板薬を処方した割合

2020年度 **77.8%**

2021年度 **96.8%**

再発予防の観点から、脳梗塞発症早期から抗血小板治療を行う有用性が明らかとなっていますので、適応する患者には退院時に抗血小板薬の投与が開始されていることが望ましいと言えます。

2020 年度 分子 : 退院時に抗血小板薬を処方された患者数
分母 : 脳梗塞か TIA と診断された 18 歳以上の入院患者数

2021 年度 分子 : 抗血小板薬を処方された患者数
分母 : 脳梗塞か TIA と診断された 18 歳以上の入院患者数

◆脳梗塞患者のうちスタチンを処方した割合

2020年度 **24.6%**

2021年度 **55.2%**

LDL コレステロールを低下させるほど、脳卒中の発症率、死亡率が下がるという研究報告があります。海外の臨床試験 (SPARCL) では高用量のスタチン製剤による脳卒中の再発抑制が示され、動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012 年版ではスタチンによる脳梗塞発症の予防を、「推奨レベル 1、エビデンスレベル A (最も良質なエビデンスがあると認めた、最高の推奨度レベル)」としています。

2020 年度 分子 : 退院時にスタチンが処方された患者数
分母 : 脳梗塞で入院した患者数

2021 年度 分子 : スタチンが処方された患者数
分母 : 脳梗塞で入院した患者数

◆心房細動を伴う脳梗塞(TIA 含む)患者のうち抗凝固薬を処方した割合

2020年度 **60.0%**

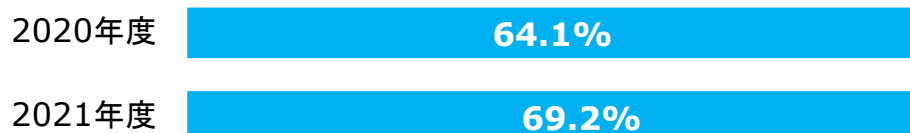
2021年度 **88.1%**

心房細動を合併する脳梗塞の再発予防の観点から、抗凝固薬を用いた治療が有効とされています。適応する患者には退院時に抗凝固剤の投与が開始されていることが望ましいと言えます。

2020 年度 分子 : 退院時に抗凝固薬を処方された患者数
分母 : 脳梗塞か TIA と診断され、かつ心房細動と診断された 18 歳以上の入院患者数

2021 年度 分子 : 抗凝固薬を処方された患者数
分母 : 脳梗塞か TIA と診断され、かつ心房細動と診断された 18 歳以上の入院患者数

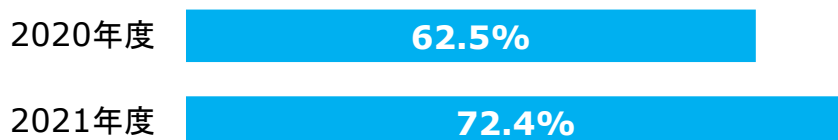
◆脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合



入院後、できるだけ早期にリハビリを開始することがADL(日常生活動作)やQOL(生活の質)の早期回復と低下抑制に繋がります。

分子 : 入院後早期(3日以内)に脳血管リハビリテーションが行われた患者数
分母 : 脳梗塞と診断されて入院した18歳以上の入院患者数

◆統合指標(脳卒中)



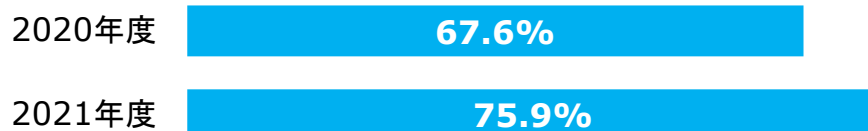
関連する下記5指標群のバンドル準拠率を示しています。

- ・脳梗塞(TIA含む)患者のうち入院2日目までに抗血小板もしくは抗凝固療法を受けた患者の割合
- ・脳梗塞(TIA含む)患者のうち抗血小板薬処方割合
- ・脳梗塞(TIA含む)患者のスタチン処方割合
- ・心房細動を伴う脳梗塞(TIA含む)患者への抗凝固薬処方割合
- ・脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者割合

心臓血管系

急性心筋梗塞においては、抗血小板薬、 β ブロッカー、ACE 阻害剤あるいはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤(ARB)、スタチンなどが心筋梗塞発症後の長期予後改善や二次予防を目的とした退院時処方に推奨されています。二次予防に必須とされる薬物を退院時に処方する割合が高い方が望ましいと言えます。

◆急性心筋梗塞患者のうち入院当日にアスピリンを投与した割合



分子 : 入院当日にアスピリンが投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者のうちアスピリンを投与した割合

2020年度	87.5%
2021年度	96.5%

2020 年度	分子 : 退院時に抗血小板薬が投与された患者数
	分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数
2021 年度	分子 : アスピリンもしくはクロピドグレルが投与された患者数
	分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者のうちβブロッカーを投与した割合

2020年度	65.6%
2021年度	62.1%

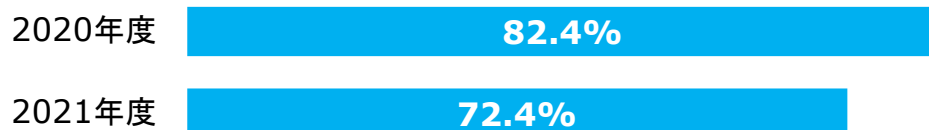
2020 年度	分子 : 退院時に β ブロッカーが投与された患者数
	分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数
2021 年度	分子 : β ブロッカーが投与された患者数
	分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者のうちスタチンを投与した割合

2020年度	59.4%
2021年度	84.6%

2020 年度	分子	: 退院時にスタチンが投与された患者数
	分母	: 急性心筋梗塞で入院した患者数
2020 年度	分子	: スタチンが投与された患者数
	分母	: 急性心筋梗塞で入院した患者数

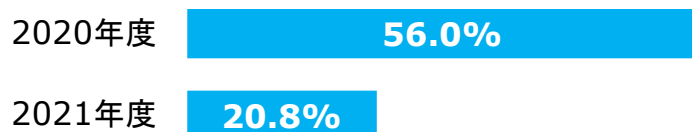
◆急性心筋梗塞患者のうち ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤を投与した割合



分子：ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤が投与された患者数

分母：急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者のうち病院到着後 90 分以内に初回 PCI を実施した割合

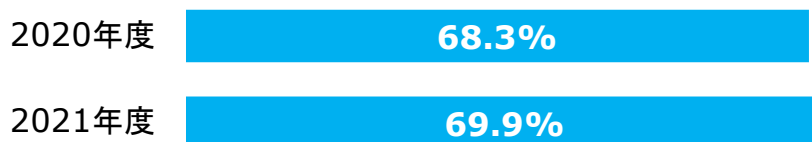


急性心筋梗塞では、医療機関到着から PCI 開始までの時間 (door-to-balloon 時間と呼ばれます) が延びるほど予後が悪くなると報告されています。ガイドラインでは医療機関受診後 90 分以内にカテーテル治療を行うことを求めており、診断からスタッフや検査室の準備、再灌流達成までの複合的な時間を短縮する必要があります。

分子：来院後 90 分以内に手技を受けた患者数

分母：18 歳以上の急性心筋梗塞で PCI を受けた患者数

◆統合指標(虚血性心疾患)



関連する下記 7 指標群のバンドル準拠率を示しています。

- ・急性心筋梗塞患者における入院当日アスピリン投与割合
- ・急性心筋梗塞患者におけるアスピリン投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における β ブロッカー投与割合
- ・急性心筋梗塞患者におけるスタチン投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合
- ・急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内の PCI 実施割合

筋・骨格系

大腿骨頸部骨折や大腿骨転子部骨折は、入院後早期に手術を受けることが望ましいとされています。

◆大腿骨頸部骨折の早期手術割合

2020年度 47.2%

2021年度 18.6%

分子：入院2日以内に手術を受けた患者数

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた患者数

◆大腿骨転子部骨折の早期手術割合

2020年度 66.7%

2021年度 31.9%

分子：入院2日以内に手術を受けた患者数

分母：大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた患者数

救 急

◆救急車・ホットラインの応需率

2020年度 94.9%

2021年度 95.7%

分子：救急車で来院した患者数

分母：救急車受け入れ要請件数

薬 剤 ・ 栄 養

◆糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施率

2020年度 76.9%

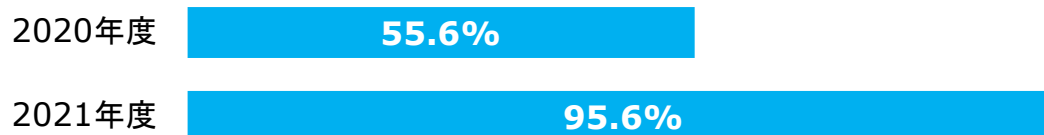
2021年度 54.8%

糖尿病や慢性腎臓病を併存症に持つ患者への積極的な栄養管理介入は、治療改善につながると考えられています。

分子：特別食加算の算定回数

分母：18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的ではない入院患者の食事回数

◆シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤投与率



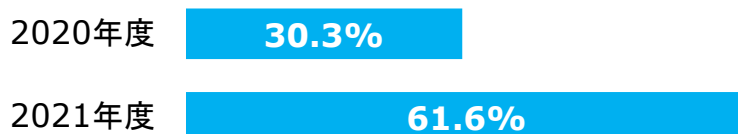
抗がん剤治療における悪心や嘔吐は代表的な副作用としてあげられます。制吐療法は抗がん剤治療による副作用を和らげる支持療法です。

分子：実施日の前日または当日に、5HT₃ 受容体拮抗薬、NK₁ 受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数

分母：18歳以上の患者で、入院にてシスプラチンを含む化学療法を受けた実施日数

地域連携パス

◆脳卒中患者に対する地域連携パスの使用率



脳卒中の治療が終了した後も、地域医療全体で継続的な医学的管理とリハビリテーションを患者に提供することが重要です。

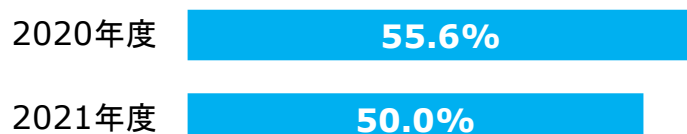
2020年度 分子：「地域連携診療計画加算」を算定した患者数

分母：脳卒中で入院した患者数

2021年度 分子：地域連携に関する算定のある患者数

分母：脳卒中で入院した患者数

◆大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率



急性期における治療が終了した後も、地域医療全体で継続的な医学的管理とリハビリテーションを患者に提供することが重要です。

2020年度 分子：「地域連携診療計画加算」を算定した患者数

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数

2021年度 分子：地域連携に関する算定のある患者数

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数